
市民アンケート結果報告書

<目 次>

市民アンケート調査の概要	1
1. 調査の概要	1
2. 標本誤差について	2
3. 調査票	3
①あなた自身のことについて	11
問1 あなたの現在のお住まいの地域（小学校区）を教えてください。	11
問2 あなたの性別を教えてください。	11
問3 あなたの年齢を教えてください。	12
問4 あなたの家族構成を教えてください。	12
問5 あなたの日進市での居住年数を教えてください。	13
問6 あなたの居住形態を教えてください。	13
②これまでのまちづくりに対する評価について	14
問7 生活利便施設（スーパーや病院等の日常生活に欠かせない施設）の充実と、鉄道 駅周辺等の都市機能の活性化（道路の整備や公共交通機関の利便向上等）により 市街地環境の質の向上を目指しつつ、都市施設の維持や修繕、長寿命化を行い、 将来にわたって住みやすい都市づくりを目指しています。あなたの体感として、 下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じますか？	14
問8 スマートインターチェンジの整備等による交通利便性の確保や、既存産業の強化・ 充実、市民の働く場となる新たな産業拠点の形成や、生産性の高い農地等の保全 により、時代に合った産業活力を持ち続ける都市づくりを目指しています。あな たの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じ ますか？	16
問9 既存の都市施設や商業施設、地域振興施設等を活かした、多様な市民がふれあい にぎわう市民交流の場の充実や、市外の交流人口を呼び込むための拠点の整備等 により、高齢化が進行する中でも地域を元気づけるとともに、地域コミュニティ が維持・活性化され、全ての人の個性が輝いてふれあいが生まれる都市づくりを 目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良く なっていると感じますか？	18
問10 市と地域の連携による防災・減災対策の充実や、道幅の狭い道路の改善、無秩 序な開発の抑制、空き家や空き地等の利活用等により、まちの防災力の強化を進 めています。また、公共交通や道路・公園等の快適性や利便性等の向上により、 安心して子育てできる環境をつくる等、全ての人が安全安心に暮らせる都市づく りを目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、 良くなっていると感じますか？	20

問11 緑地や農地等、豊かな自然環境や水辺環境を保全し、市民協働活動や民間活力の協力を得ながら、より良好な景観の形成を目指しています。また、利便性の高い交通機能や都市構造を構築し、環境負荷の小さい都市づくりを目指します。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じますか？..... 22

③今後の都市づくりについて..... 24

問12 今後、どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいと思いますか？..... 24

問13 今後、どのような商業施設が充実するとよいと思いますか？..... 26

問14 今後、産業用地（商業用地・工業用地）をどのようにしていくとよいと思いますか？..... 28

問15 今後、郊外の集落地（開発を抑制している地域）をどのようにしていくとよいと思いますか？..... 30

④日常生活の行動について..... 32

問16 (1)から(11)について、あなたが普段の生活の中で、よく利用する場所および利用頻度、その場所までの移動手段について、記入例を参考に、それぞれから1つ選び、その番号を記入してください。..... 32

市民アンケート調査の概要

新たな都市計画マスタープランを策定するにあたって、お住まいの地域や日進市全体のまちづくりに関する市民意向を調査し、基礎資料とすることを目的にアンケートを実施した。

1. 調査の概要	
調査の種別	紙面アンケート調査及びWEBアンケート調査
調査対象者	18歳以上の市民3,000人
配布数	3,000件
回答数	1,017件 ※回収率33.9% [参考：郵送回収 754件、WEB回答 263件]
調査方法	郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
調査内容	①あなた自身のことについて ②これまでのまちづくりに対する評価について ③今後のまちづくりについて ④日常生活の行動について ⑤日進市のまちづくりに関するアイデア等
調査時期	令和7年5月14日(水)～令和7年6月6日(金)

※本調査報告では、都市計画マスタープランに関わる設問のみを対象とする。

2. 標本誤差について

本来、アンケート調査を行う場合、全母集団（全日進市民）を対象とすることが望ましいですが、実際には手間や費用を考慮して適切な数を抽出した調査をするため、アンケートの回答結果には誤差が生じます。そのため、アンケートの回答結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかを検討する必要がありますが、その精度は「標本誤差」を算出することで把握できます。以下に、標本誤差を整理します。

回答比率 回答者数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,017	±1.84	±2.46	±2.82	±3.01	±3.07
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80
50	±8.32	±11.09	±12.70	±13.58	±13.86

- この表の見方は、例えば、「ある設問の回答者数が 1,000 人あり、その設問中の選択肢の回答比率が 90%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.84 以内（88.16%～91.84%）である」となります。
- 本アンケート調査では、1,017 人からの回答が得られており、例えば、ある選択肢の回答値が 50%であった場合、標本誤差は約 3.07%となるため、母集団、すなわち全市民の賛成率は、95%の確率で約 46.93%～53.07%の間にあると言えます。
- なお、標本誤差は、回答値が 50%の時に最も高く、回答率が 0%もしくは 100%に近づくほど減少します。
- 以上より、本アンケート調査では、標本誤差が最大でも約 3.07%となり、許容できる標本誤差の範囲である 5%未満に収まるため、母集団に対し妥当な標本データ数を得ることができたと言えます。

3. 調査票

日進市都市マスタープラン中間見直しのための市民アンケート
より暮らしやすいまちづくりの実現に向けて
あなたの考えをお聞かせください

アンケート調査について

- 日進市では、将来の都市の姿やまちづくりの目標・方針などを示した「都市マスタープラン」の中間見直しを現在進めています。
- このアンケート調査は、令和3年3月に策定した都市マスタープランの中間見直しにあたって、お住まいの地域や日進市全体のまちづくりに関するご意見をお聞きするものです。
- 調査の対象者は、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に3,000名を選ばせていただきました。
- 日進市がより暮らしやすく、より魅力的なまちとなることをめざして、市民のみなさんと一緒に日進市のまちづくりを考えていくために、ぜひアンケート調査へのご協力をお願いします。
- ご回答いただいた内容は、調査目的以外に使用することはありません。
- この調査は、宛名のご本人宛にお送りしていますが、記入が困難な場合はご家族で回答していただいても構いません。

令和7年5月 日進市

回答方法

①郵送の場合

ご回答いただいた調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポストに投函してください。

②ウェブ上のオンラインフォームの場合

右の二次元バーコードを読み込むか、下記URLからウェブ上でご回答ください。

<https://forms.gle/4FPSLyoiikkSQD5n9>



※ウェブ上でご回答いただいた方は紙のアンケートへのご記入・ご返送しないようよろしくお願いいたします。

回答期限

令和7年 6月6日（金）

お問い合わせ

日進市役所 都市産業部 都市計画課
電話番号：0561-73-2049(直通)
E-mail：toshikeikaku@city.nisshin.lg.jp

都市マスタープランとは？

都市マスタープランは、市の最上位計画である第6次日進市総合計画の基本構想に基づき、都市計画（道路・公園・緑地の整備、住宅地・商業地・工業地・農業地の適切な配置、自然環境の保全等）の視点から、将来のまちの姿やまちづくりの基本的な方向性を定める計画です。

現在の都市マスタープランは、令和12年度に目標年度を迎えますが、令和7年度末で計画期間の中間を迎えるにあたり、現行計画の進捗状況を把握するとともに、市民のみなさんのまちづくりに対する評価やご意見を把握し、現状に即した見直しを行うこととしています。

●「日進市都市マスタープラン」都市づくりの基本理念

本市は、名古屋市と豊田市の間に位置する恵まれた地理的条件や名古屋市内では享受することができない豊かな自然が残されている環境条件から、緑豊かで新しい都市近郊の住宅都市として発展してきました。

本計画では、本市の魅力である身近に触れ合える豊かな自然環境を大切にしながら、今日の活力やにぎわいを持続的に発展させていくため、私たちみんな（市民、地域、事業者、行政）が協力し、だれもが暮らしやすい都市づくりを築いていくことを目指し、本計画における都市づくりの理念を次のように定めます。

【都市づくりの理念】

豊かな緑を尊重し、都市の活力と多様な交流でにぎわう
持続可能な都市環境を私たちが育む

●「日進市都市マスタープラン」について

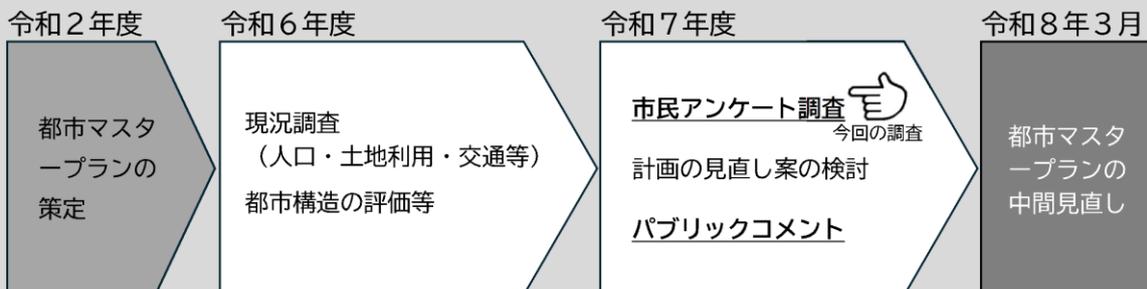
右の二次元バーコードを読み込むか、下記URLからウェブ上でご確認いただくことができます。



<https://www.city.nisshin.lg.jp/department/toshisangyo/toshi/3/2/3424.html>

都市マスタープランの中間見直しスケジュール

今回のアンケート調査の結果を参考に、市が設置している都市計画審議会での議論やパブリックコメントなどを経て、令和8年3月に中間見直しを行った都市マスタープランを公表する予定です。



※下線は、市民のみなさんにご協力いただきたい項目です。

1 あなた自身のことについておたずねします

あなた自身のことについて教えてください。

問1 あなたの現在のお住まいの地域（小学校区）を教えてください。（1つに○） ※わからない場合は、「10.わからない」にお住まいの町・丁目、字名をご記入ください。	1. 西小学校区	2. 東小学校区
	3. 北小学校区	4. 南小学校区
	5. 相野山小学校区	6. 香久山小学校区
	7. 梨の木小学校区	8. 赤池小学校区
	9. 竹の山小学校区	10. わからない （町・丁目： ） （ 字名： ）
問2 あなたの性別を教えてください。（1つに○）	1. 女性	2. 男性
	3. 回答しない	
問3 あなたの年齢を教えてください。（1つに○）	1. 10歳代	2. 20歳代
	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代
	7. 70歳代	8. 80歳以上
問4 あなたの家族構成を教えてください。（1つに○）	1. 一人暮らし世帯	2. 夫婦のみ世帯
	3. 二世帯世帯（親と子）	4. 三世帯世帯（親と子と孫）
	5. その他	
問5 あなたの日進市での居住年数を教えてください。（1つに○）	1. 1年未満	2. 1年以上5年未満
	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上15年未満
	5. 15年以上20年未満	6. 20年以上
問6 あなたの居住形態を教えてください。（1つに○）	1. 一戸建ての持家	2. 分譲マンション
	3. 一戸建ての借家	4. 賃貸住宅 （マンション・アパート等）
	5. 社宅・寮等	6. その他

2 これまでのまちづくりに対する評価についておたずねします

これまで日進市では、都市マスタープランにおける【都市づくりの基本目標】に沿って、都市づくりにおけるさまざまな取組を進めています。基本目標は5つあり、それぞれの基本目標に対する市の取組（評価項目）について、あなたの体感としてどの取組が特に進んでいる、または良くなっていると感じますか？

記入例を参考に、特に当てはまる項目の1つに○を記入してください。

<記入例>		
評価項目	① まちの快適性	
	② まちの産業活性化	
	③ 地域による支え合い	○
	④ 安全安心なまちづくり	
	⑤ 環境に優しいまちづくり	

基本目標① 【快適性の高い持続可能な都市づくり】に向けた市の取組		
問7 生活利便施設（スーパーや病院等の日常生活に欠かせない施設）の充実と、鉄道駅周辺等の都市機能の活性化（道路の整備や公共交通機関の利便向上等）により市街地環境の質の向上を目指しつつ、都市施設の維持や修繕、長寿命化を行い、将来にわたって住みやすい都市づくりを目指しています。 <u>あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じますか？(1つに○)</u>		
評価項目	① 車道の利便性の向上	
	② 歩道の利便性の向上	
	③ 公共交通の利便性の向上	
	④ くるりんばすの利便性の向上	
	⑤ 市内3駅（日進駅、赤池駅、米野木駅）の鉄道乗降客数の増加	
	⑥ その他（具体的に)	

都市づくりの基本目標の進捗状況を把握するため、日進市都市マスタープランの上位計画である「第6次日進市総合計画」で掲げられた基本成果指標を用いております。

そこで、各質問項目（問7～問11）の下に、参考資料として基本成果指標の実績値および目標値を掲載しています。

※については、現状において把握している最新の数値となります。（第6次日進市総合計画 第5次実施計画（令和7年2月）より）

参 考

第6次日進市総合計画における基本成果指標

基本成果指標	実績値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
車道の利便性に対する満足度	37.1%	40.0%	42.0%
歩道の利便性に対する満足度	23.2%	26.0%	27.0%
公共交通の利便性に対する満足度	25.9%	27.8%	30.0%
くるりんばすの利便性に対する満足度	13.2%	17.5%	22.5%
市内3駅（日進駅、赤池駅、米野木駅）の 鉄道乗降客数	1,443万人(※)	1,649万人	1,659万人

基本目標②【産業活力のある都市づくり】に向けた市の取組

問8

スマートインターチェンジの整備等による交通利便性の確保や、既存産業の強化・充実、市民の働く場となる新たな産業拠点の形成や、生産性の高い農地等の保全により、時代に合った産業活力を持続ける都市づくりを目指しています。

あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？(1つに○)

評価項目	① 大型店舗の立地	
	② 人に紹介したいと思う観光資源・施設がある市民の増加	
	③ 観光資源・施設における利用者数の増加	
	④ 製造品出荷額（企業が製造した製品を出荷した金額）の上昇	
	⑤ 市内農業産出額（日進市内における1年間の農業生産活動によって得られた農産物の販売額の合計）の上昇	
	⑥ その他（具体的に）	

参考

第6次日進市総合計画における基本成果指標

基本成果指標	実績値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
大型店舗の立地に対する満足度	46.6%	52.5%	55.0%
人に紹介したいと思う観光資源がある市民の割合	12.0%	16.5%	21.5%
観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）	311,847人(※)	834,000人	1,019,000人
製造品出荷額	984億円(※)	1,126億円	1,176億円
市内農業産出額	94,000万円(※)	67,000万円	68,000万円

基本目標③【ふれあいにぎわう都市づくり】に向けた市の取組

問9

既存の都市施設や商業施設、地域振興施設等を活かした、多様な市民がふれあいにぎわう市民交流の場の充実や、市外の交流人口を呼び込むための拠点の整備等により、高齢化が進行する中でも地域を元気づけるとともに、地域コミュニティが維持・活性化され、全ての人の個性が輝いてふれあいが生まれる都市づくりを目指しています。

あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？(1つに○)

評価項目	① 宅地供給の充実	
	② 安心して子育てができる環境づくりの促進	
	③ 地域での支え合いの促進	
	④ 生きがいを感じている高齢者の数の増加	
	⑤ 年間商品販売額（卸売、小売業）の上昇	
	⑥ 自分の人権が尊重されていると思う市民の増加	
	⑦ その他（具体的に）	

参考

第6次日進市総合計画における基本成果指標

基本成果指標	実績値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
宅地の供給に対する満足度	26.7%	26.1%	28.7%
安心して子育てできる環境であると感じる市民の割合	69.6%	66.0%	70.0%
地域が支え合って暮らしていると思う市民の割合	39.3%	38.0%	40.0%
生きがいを感じている高齢者の割合	60.7%	59.0%	60.0%
年間商品販売額（卸売、小売業）	1,823億円(※)	1,623億円	1,698億円
自分の人権が尊重されていると思う市民の割合	68.2%	60.0%	65.0%

基本目標④ 【安全安心な都市づくり】に向けた市の取組

問10

市と地域の連携による防災・減災対策の充実や、道幅の狭い道路の改善、無秩序な開発の抑制、空き家や空き地等の利活用等により、まちの防災力の強化を進めています。また、公共交通や道路・公園等の快適性や利便性等の向上により、安心して子育てできる環境をつくる等、全ての人が安全安心に暮らせる都市づくりを目指しています。

あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？(1つに○)

評価項目	① 災害対策の促進	
	② 交通安全対策の促進	
	③ 空き家対策の促進	
	④ 市内交通事故（人身）発生件数の減少	
	⑤ 住宅の耐震化の促進	
	⑥ その他（具体的に	）

参 考

第6次日進市総合計画における基本成果指標

基本成果指標	実績値 2024 年度 (令和6年度)	目標値 2025 年度 (令和7年度)	目標値 2030 年度 (令和12年度)
災害対策に対する満足度	33.2%	38.0%	48.0%
交通安全に対する満足度	40.4%	39.0%	42.5%
空き家対策に対する満足度	11.4%	11.1%	12.9%
市内交通事故（人身）発生件数（人口1,000人あたり）	2.7件(※)	3.2件	2.8件
住宅の耐震化率	90.2%(※)	95.0%	97.0%

基本目標⑤ 【環境に優しい都市づくり】に向けた市の取組

問11

緑地や農地等、豊かな自然環境や水辺環境を保全し、市民協働活動や民間活力の協力を得ながら、より良好な景観の形成を目指しています。また、利便性の高い交通機能や都市構造を構築し、環境負荷の小さい都市づくりを目指します。

あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？(1つに○)

評価項目	① 田畑や森林等の景観の維持・保全	
	② 民有地や公共施設等の緑化の推進	
	③ 自宅周辺の居住環境の魅力向上	
	④ 自宅周辺の公園をよく利用している市民の数の増加	
	⑤ 身近なところに水に親しめる場所があると思う市民の数の増加	
	⑥ その他（具体的に	）

参 考

第6次日進市総合計画における基本成果指標

基本成果指標	実績値 2024 年度 (令和6年度)	目標値 2025 年度 (令和7年度)	目標値 2030 年度 (令和12年度)
田畑や森林等の景観に対する満足度	55.5%	58.3%	61.3%
緑化の推進に対する満足度	41.9%	45.1%	48.1%
住まいの周辺の居住環境に魅力を感じると考えている市民の割合	61.4%	63.6%	66.1%
自宅周辺の公園をよく利用している市民の割合	26.7%	27.7%	29.3%
身近なところに水に親しめる場所があると思う市民の割合	26.4%	35.6%	37.8%

3 今後のまちづくりについておたずねします

今後の日進市のまちづくりについて、設問ごとにまちづくりの方向性を掲載していますので、それぞれ1つに○をつけてください。

問12 今後、どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいと思いますか？（1つに○）

1. 既成市街地の住環境の改善、良好な住環境の維持・保全（空き家対策・狭い道路の改善等）
2. 増加する人口の受け皿となる新たな住宅地づくり
3. 既成市街地への中高層マンションの誘導等による増加する人口の収容
4. 現状のまま維持する
5. その他（具体的に ）

問13 今後、どのような商業施設が充実するとよいと思いますか？（1つに○）

1. お住まいの地域に身近な商業施設の充実
2. 市内3駅（日進駅、赤池駅、米野木駅）周辺の商業施設の充実
3. 幹線道路沿いに並ぶ商業施設の充実
4. 現状のまま維持する
5. その他（具体的に ）

問14 今後、産業用地（商業用地・工業用地）をどのようにしていくとよいと思いますか？（1つに○）

1. 既存の産業用地の機能強化
2. 新たな産業用地の整備
3. 住宅地と工場地が混在している市街地の改善
4. 現状のまま維持する
5. その他（具体的に ）

問15 今後、郊外の集落地（開発を抑制している地域）をどのようにしていくとよいと思いますか？（1つに○）

1. 農地や自然環境を保全する（開発を抑制し、農地や自然を守る）
2. 市の抱える課題の解消のために必要な開発（住宅地の充実、産業活力の向上等に向けた開発）は認める
3. 集落の機能維持を図るため、住宅や施設の整備（生活インフラの充実等）を進める
4. 現状のまま維持する
5. その他（具体的に ）

4 日常生活の行動についておたずねします

問16 (1) から (11) について、あなたが普段の生活の中で、よく利用する場所および利用頻度、その場所までの移動手段について、記入例を参考に、それぞれから1つ選び、その番号を記入してください。

※「よく利用する場所」について、「⑧利用しない」と回答した場合、「利用頻度」、「主な移動手段」をご回答いただく必要はありません。

	よく利用する場所	利用頻度	主な移動手段
	①日進市内 ②名古屋市 ③みよし市 ④長久手市 ⑤豊田市 ⑥東郷町 ⑦その他日進市外 ⑧利用しない	① 週5日以上 ② 週3～4日程度 ③ 週1～2日程度 ④ 月2～3日程度 ⑤ 月1日程度	①鉄道 ②路線バス ③タクシー ④自家用車 ⑤原付・バイク ⑥自転車 ⑦徒歩のみ ⑧その他
<記入例>	⑦	③	④
(1) 買い物先 (食料品などの日用品等)			
(2) 買い物先 (家電や衣料品などの買回り品等)			
(3) 飲食店 (レストランやカフェ等)			
(4) 病院・診療所等			
(5) 通勤・通学先			
(6) 子育て施設 (幼稚園、保育所等)			
(7) 福祉・介護施設			
(8) コミュニティ施設 (公民館等)			
(9) スポーツ・レクリエーション施設 (体育館等)			
(10) 公園、緑地等			
(11) 郵便局、銀行等の金融機関			

5 日進市のまちづくりに関するアイデア等の記入をお願いします

問17 今回の計画づくりに関して、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

◆都市マスタープラン（居住環境や生活利便性等）に関するご意見・ご提案

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入していただいた調査票は、令和7年6月6日（金）までに同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、郵便ポストにご投函ください。

①あなた自身のことについて

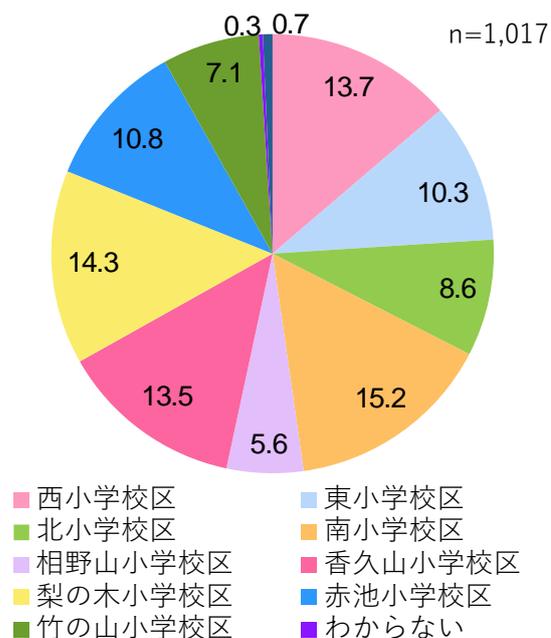
問1 あなたの現在のお住まいの地域（小学校区）を教えてください。

(1つに○)

回答者の現在住んでいる地域（小学校区）について、最も多いのが「南小学校区（15.2%）」、次いで「梨の木小学校区（14.3%）」、「西小学校区（13.7%）」となっています。

「相野山小学校区（5.6%）」、「竹の山小学校区（7.1%）」、「北小学校区（8.6%）」の回答数が若干少なくなっているものの、概ね市内各地域の回答を得ています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	西小学校区	139	13.7
2	東小学校区	105	10.3
3	北小学校区	87	8.6
4	南小学校区	155	15.2
5	相野山小学校区	57	5.6
6	香久山小学校区	137	13.5
7	梨の木小学校区	145	14.3
8	赤池小学校区	110	10.8
9	竹の山小学校区	72	7.1
10	わからない	3	0.3
	不明	7	0.7
	合計	1,017	100

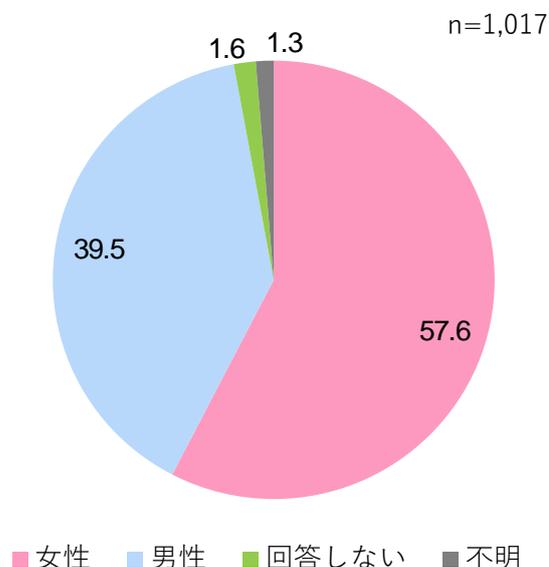


問2 あなたの性別を教えてください。

(1つに○)

回答者の性別について、「女性（57.6%）」、「男性（39.5%）」となっており、女性の方が回答者数が多くなっています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	女性	586	57.6
2	男性	402	39.5
3	回答しない	16	1.6
	不明	13	1.3
	合計	1,017	100



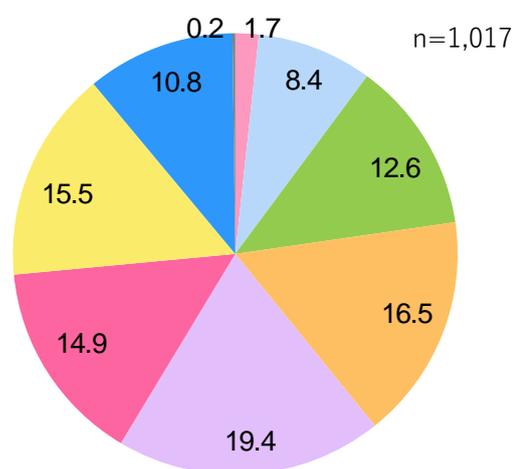
問3 あなたの年齢を教えてください。

(1つに○)

回答者の年齢について、最も多いのが「50歳代 (19.4%)」、次いで「40歳代 (16.5%)」、「70歳代 (15.5%)」となっています。

また、「10歳代 (1.7%)」の回答が少ない結果となっていますが、その他の世代の回答数は概ね得られています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	10歳代	17	1.7
2	20歳代	85	8.4
3	30歳代	128	12.6
4	40歳代	168	16.5
5	50歳代	197	19.4
6	60歳代	152	14.9
7	70歳代	158	15.5
8	80歳以上	110	10.8
	不明	2	0.2
	合計	1,017	100

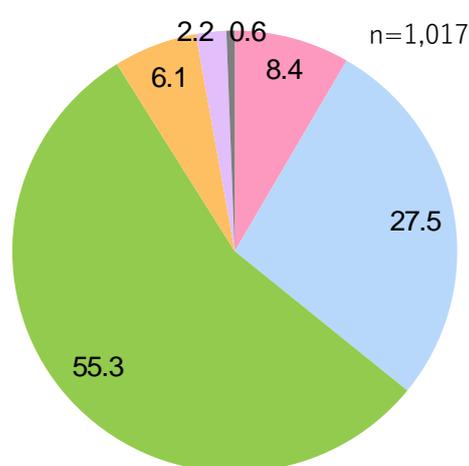


問4 あなたの家族構成を教えてください。

(1つに○)

回答者の家族構成について、最も多いのが「二世世代世帯 (親と子) (55.3%)」で、次いで「夫婦のみ世帯 (27.5%)」、「一人暮らし世帯 (8.4%)」となっており、半数以上が二世世代世帯の回答となっています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	一人暮らし世帯	85	8.4
2	夫婦のみ世帯	280	27.5
3	二世世代世帯 (親と子)	562	55.3
4	三世世代世帯 (親と子と孫)	62	6.1
5	その他	22	2.2
	不明	6	0.6
	合計	1017	100

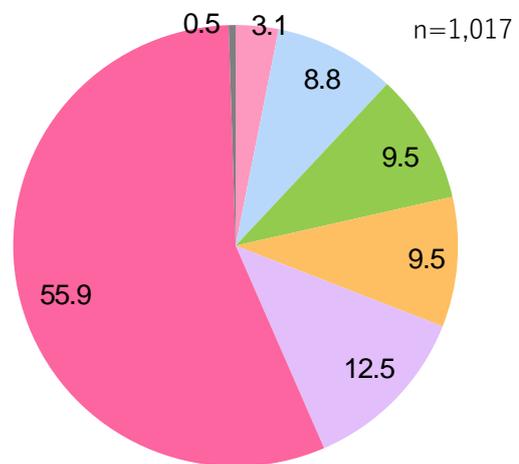


問5 あなたの日進市での居住年数を教えてください。

(1つに○)

回答者の日進市での居住年数をみると、「20年以上(55.9%)」が最も多く、全体の半数以上を占めています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	1年未満	32	3.1
2	1年以上5年未満	90	8.8
3	5年以上10年未満	97	9.5
4	10年以上15年未満	97	9.5
5	15年以上20年未満	127	12.5
6	20年以上	569	55.9
	不明	5	0.5
	合計	1017	100



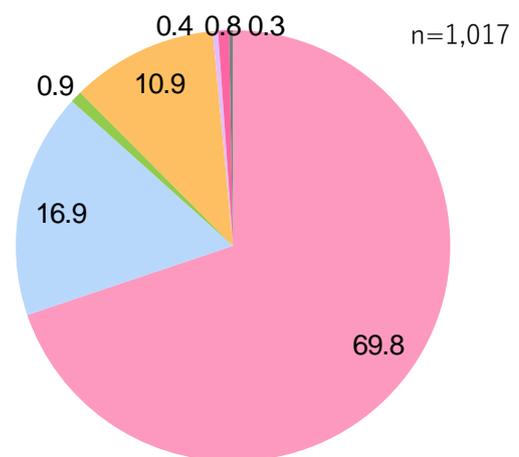
- 1年未満
- 1年以上5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上15年未満
- 15年以上20年未満
- 20年以上
- 不明

問6 あなたの居住形態を教えてください。

(1つに○)

回答者の居住形態について、最も多いのが「一戸建ての持家(69.8%)」と半数以上を占めており、次いで「分譲マンション(16.9%)」、「賃貸住宅(マンション・アパート)(10.9%)」となっています。

No.	カテゴリ	回答数	構成比(%)
1	一戸建ての持家	710	69.8
2	分譲マンション	172	16.9
3	一戸建ての借家	9	0.9
4	賃貸住宅(マンション・アパート等)	111	10.9
5	社宅・寮等	4	0.4
6	その他	8	0.8
	不明	3	0.3
	合計	1017	100



- 一戸建ての持家
- 分譲マンション
- 一戸建ての借家
- 賃貸住宅(マンション・アパート等)
- 社宅・寮等
- その他
- 不明

②これまでのまちづくりに対する評価について

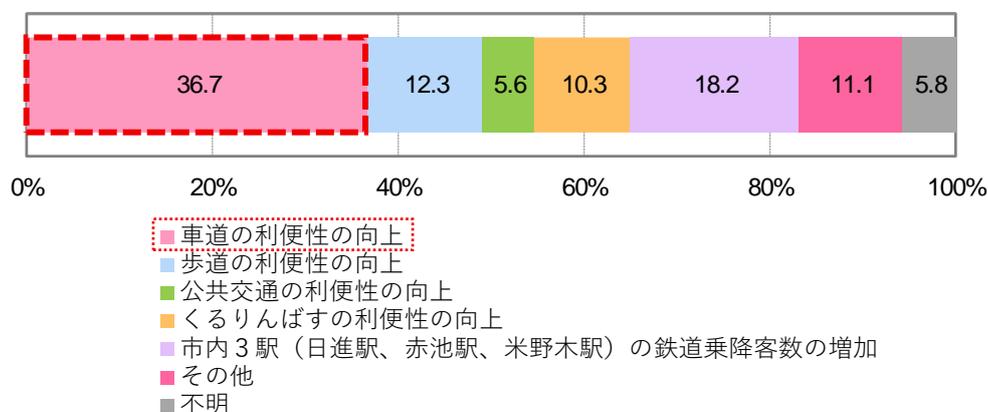
基本目標① 【快適性の高い持続可能な都市づくり】に向けた市の取組

問7 生活利便施設（スーパーや病院等の日常生活に欠かせない施設）の充実と、鉄道駅周辺等の都市機能の活性化（道路の整備や公共交通機関の利便向上等）により市街地環境の質の向上を目指しつつ、都市施設の維持や修繕、長寿命化を行い、将来にわたって住みやすい都市づくりを目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「車道の利便性の向上 (36.7%)」、次いで「市内3駅（日進駅、赤池駅、米野木駅）の鉄道乗降客数の増加 (18.2%)」、「歩道の利便性の向上 (12.3%)」となっています。

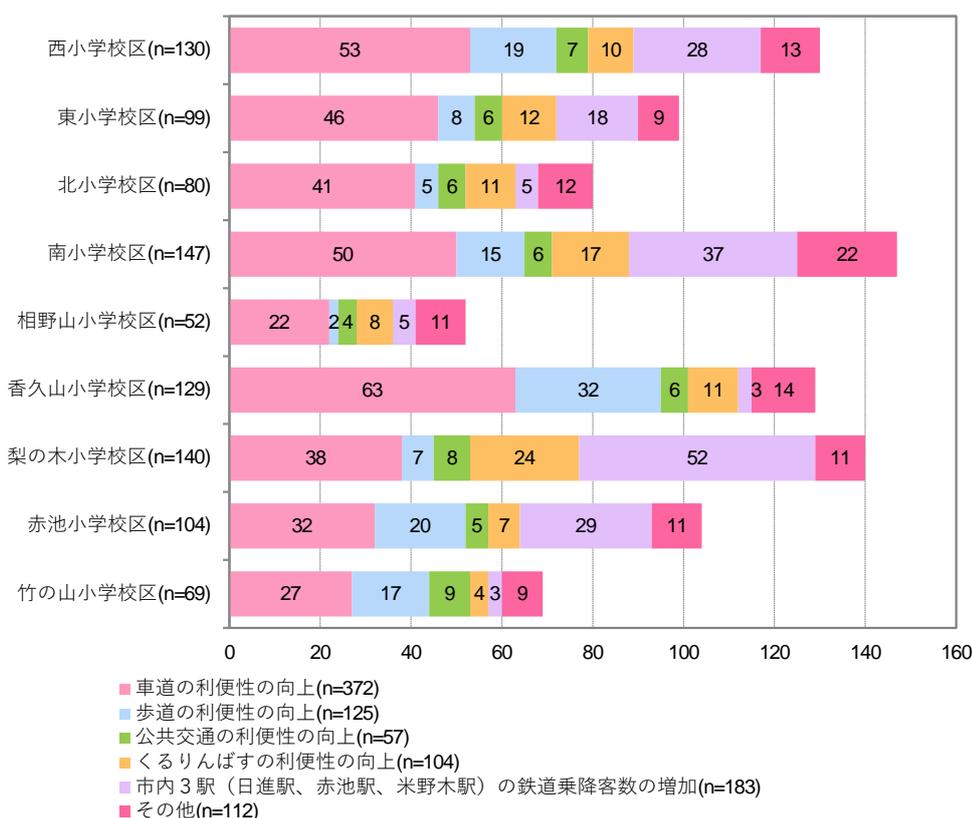
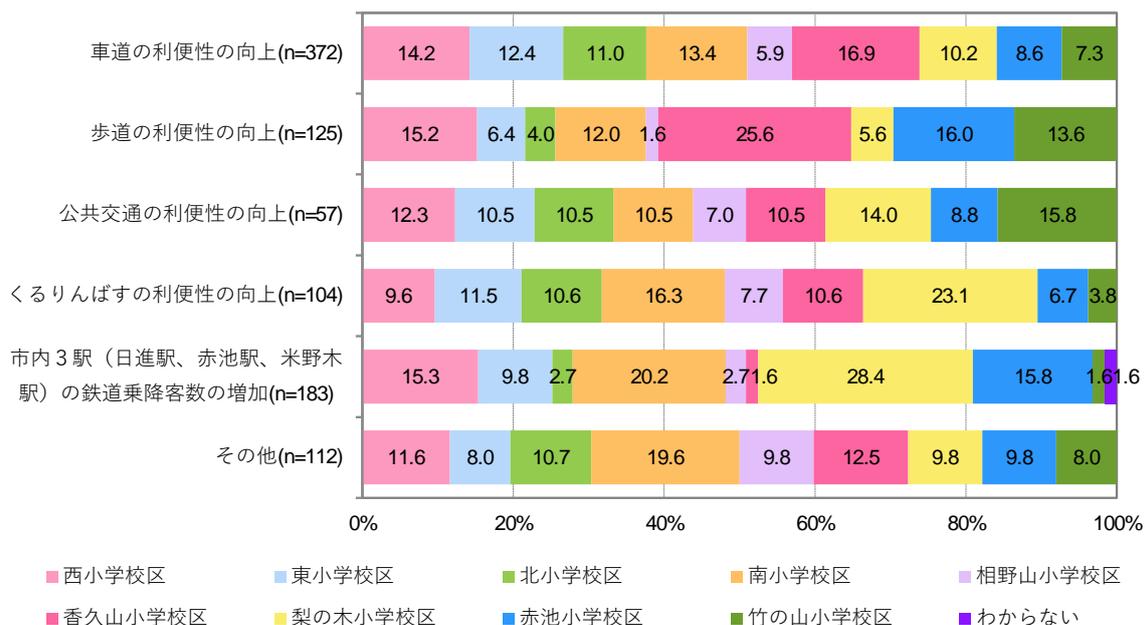


(2) 地域別の集計

香久山小学校区は、他の小学校区に比べて、「車道の利便性の向上」、「歩道の利便性の向上」の回答が多くなっています。

竹の山小学校区は、他の小学校区に比べ、「公共交通の利便性向上」の回答が多くなっています。

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「くるりんばすの利便性の向上」、「市内3駅の鉄道乗降者数の増加」の回答が多くなっています。



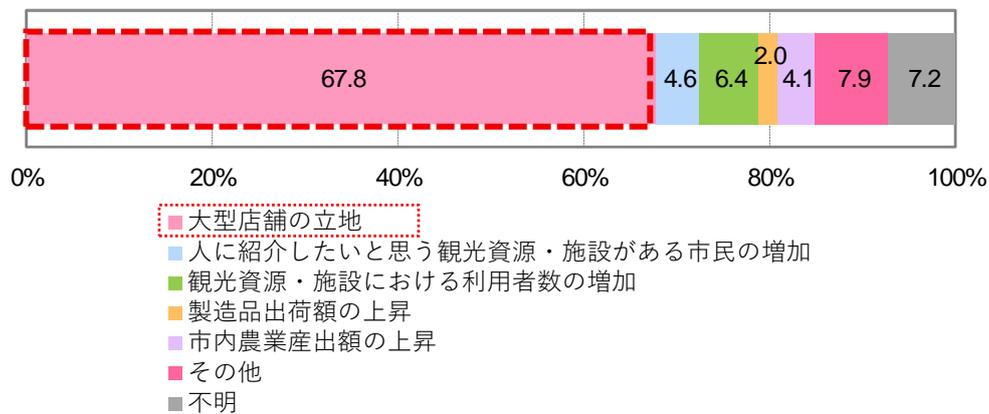
基本目標② 【産業活力のある都市づくり】に向けた市の取組

問8 スマートインターチェンジの整備等による交通利便性の確保や、既存産業の強化・充実、市民の働く場となる新たな産業拠点の形成や、生産性の高い農地等の保全により、時代に合った産業活力を持ち続ける都市づくりを目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「大型店舗の立地(67.8%)」と半数以上を占めており、次いで「その他(7.9%)」、「観光資源・施設における利用者数の増加(6.4%)」となっています(「不明(7.2%)」を除く)。

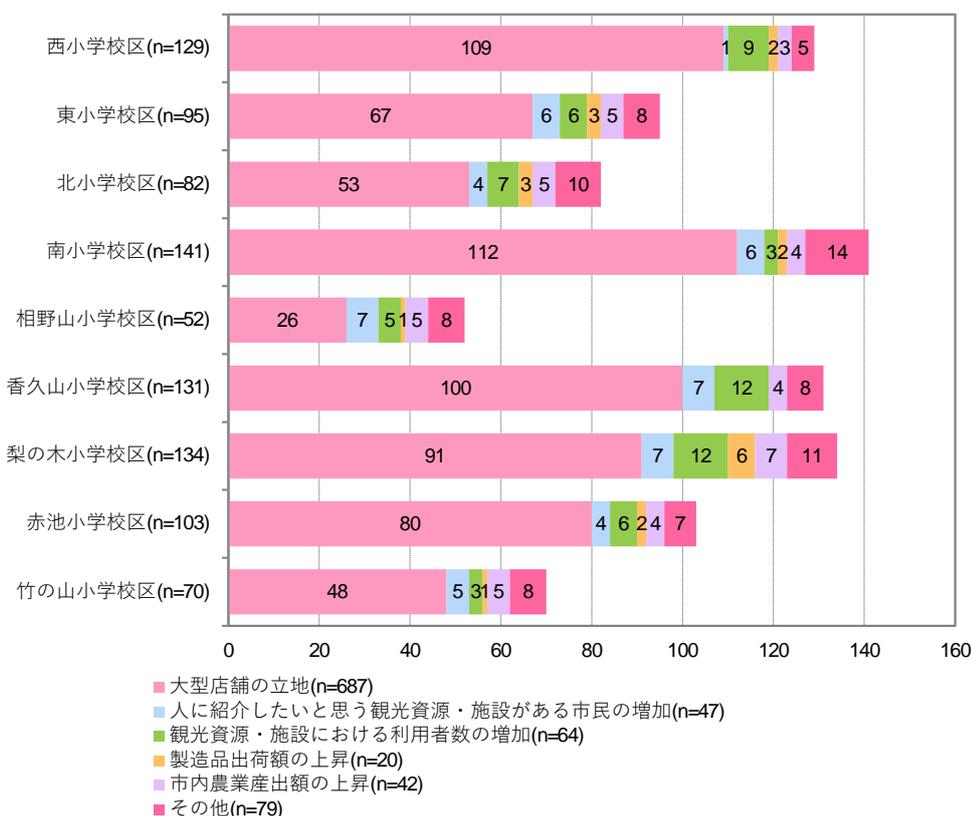
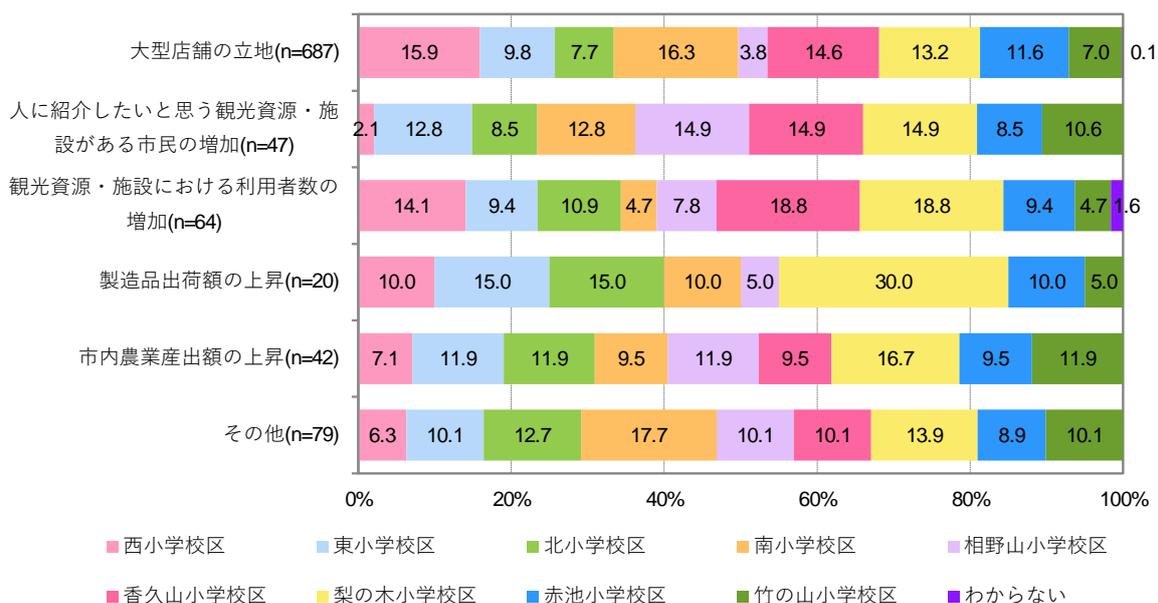


(2) 地域別の集計

西小学校区、南小学校区では、他の小学校区に比べ「大型店舗の立地」の回答が多くなっています。

相野山小学校区・香久山小学校区・梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ「人に紹介したいと思う観光資源・施設がある市民の増加」の回答が多くなっています。中でも、香久山小学校区・梨の木小学校区は、「観光資源・施設における利用者数の増加」の回答も、他の小学校区に比べ多くなっています。

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「製造品出荷額の上昇」、「市内農業産出額の上昇」の回答が多くなっています。



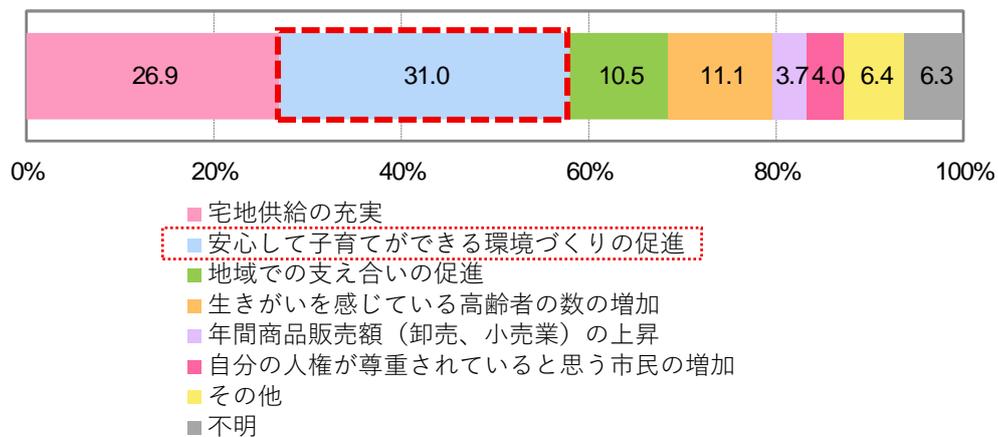
基本目標③ 【ふれあいにぎわう都市づくり】に向けた市の取組

問9 既存の都市施設や商業施設、地域振興施設等を活かした、多様な市民がふれあいにぎわう市民交流の場の充実や、市外の交流人口を呼び込むための拠点の整備等により、高齢化が進行する中でも地域を元気づけるとともに、地域コミュニティが維持・活性化され、全ての人の個性が輝いてふれあいが生まれる都市づくりを目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなっていると感じますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「安心して子育てができる環境づくりの促進 (31.0%)」、次いで「宅地供給の充実 (26.9%)」、「生きがいを感じている高齢者の数の増加 (11.1%)」となっています。

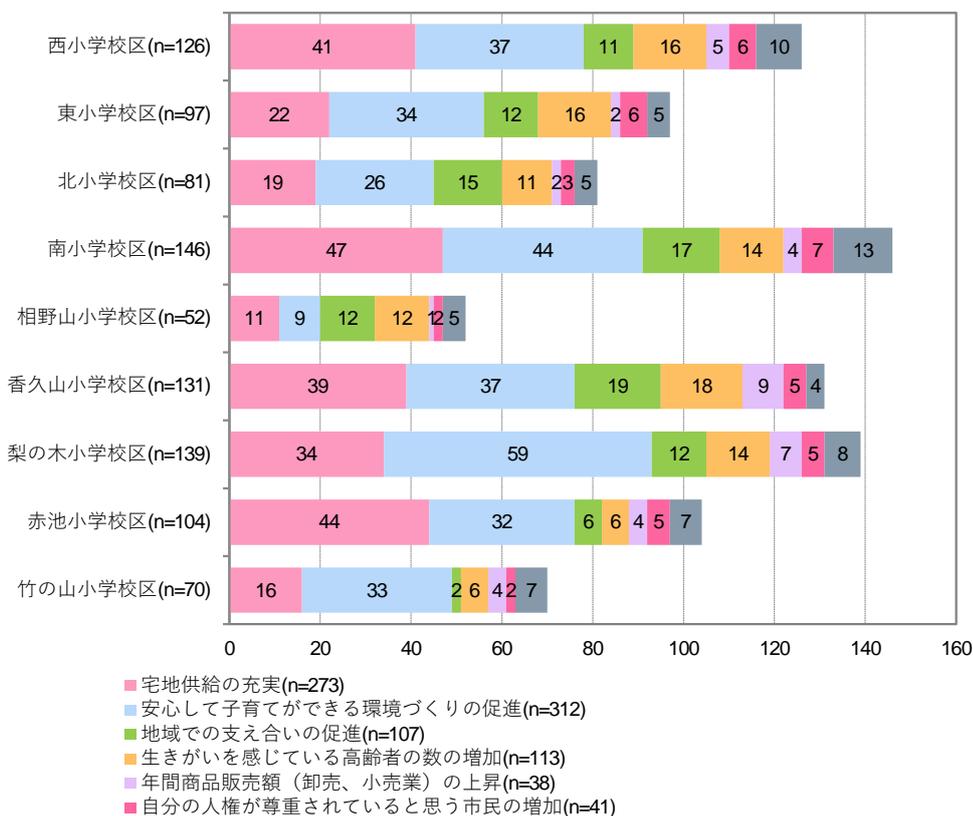
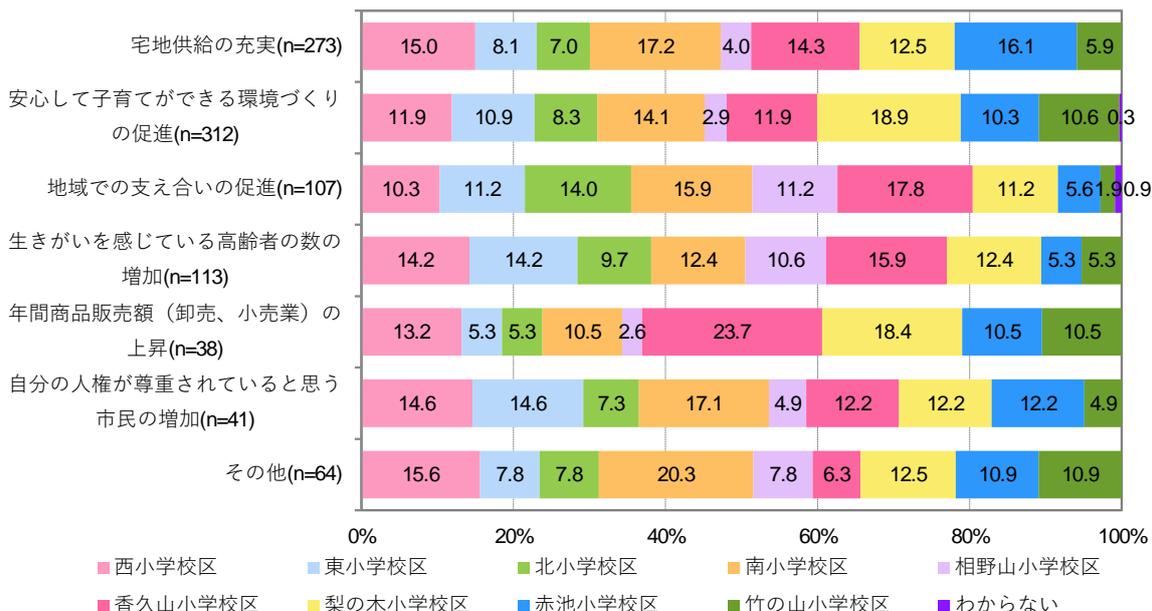


(2) 地域別の集計

南小学校区は、他の小学校区に比べ、「宅地供給の充実」、「自分の人権が尊重されていると思う市民の増加」の回答が多くなっています。

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「安心して子育てができる環境づくりの促進」の回答が多くなっています。

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「地域での支え合いの促進」、「生きがいを感じている高齢者の数の増加」、「年間商品販売額（卸売、小売業）の上昇」の回答が多くなっています。



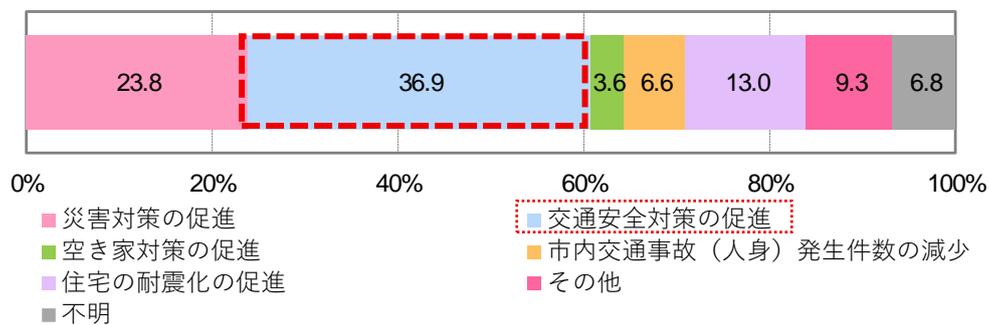
基本目標④ 【安全安心な都市づくり】に向けた市の取組

問10 市と地域の連携による防災・減災対策の充実や、道幅の狭い道路の改善、無秩序な開発の抑制、空き家や空き地等の利活用等により、まちの防災力の強化を進めています。また、公共交通や道路・公園等の快適性や利便性等の向上により、安心して子育てできる環境をつくる等、全ての人が安全安心に暮らせる都市づくりを目指しています。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「交通安全対策の促進 (36.9%)」、次いで「災害対策の促進 (23.8%)」、「住宅の耐震化の促進 (13.0%)」となっています。



(2) 地域別の集計

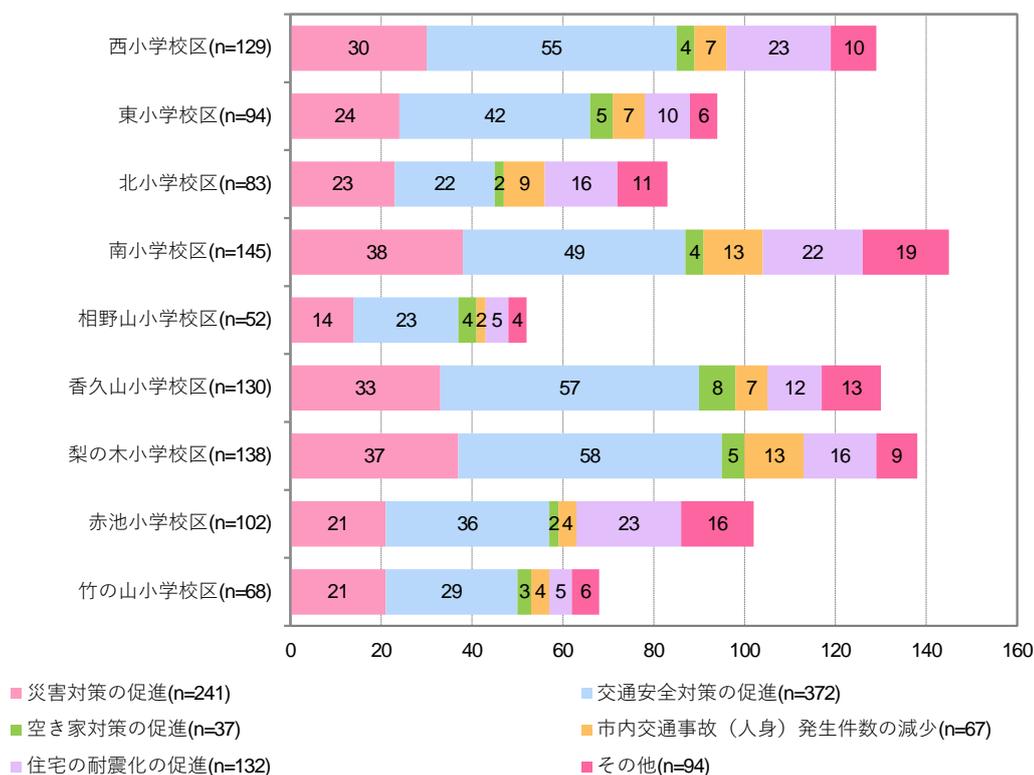
南小学校区は、他の小学校区に比べ、「災害対策の促進」の回答が多くなっています。

香久山小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「交通安全対策の促進」の回答が多くなっています。

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「空き家対策の促進」の回答が多くなっています。

南小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「市内事故（人身）発生件数の減少」の回答が多くなっています。

南小学校区、赤池小学校区は、他の小学校区に比べ、「住宅の耐震化の促進」の回答が多くなっています。



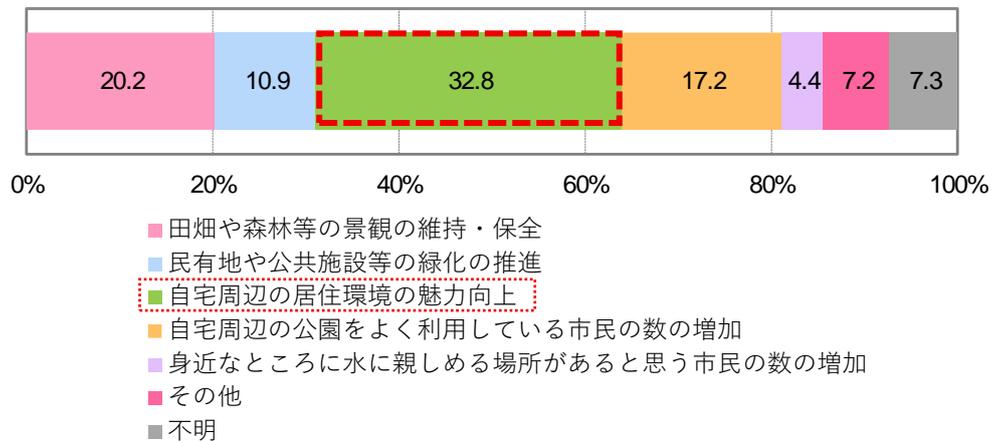
基本目標⑤ 【環境に優しい都市づくり】に向けた市の取組

問11 緑地や農地等、豊かな自然環境や水辺環境を保全し、市民協働活動や民間活力の協力を得ながら、より良好な景観の形成を目指しています。また、利便性の高い交通機能や都市構造を構築し、環境負荷の小さい都市づくりを目指します。あなたの体感として、下記のどの項目が特に進んでいる、良くなってきていると感じますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「自宅周辺の居住環境の魅力向上 (32.8%)」、次いで「田畑や森林等の景観の維持・保全 (20.2%)」、「自宅周辺の公園をよく利用している市民の数の増加 (17.2%)」となっています。



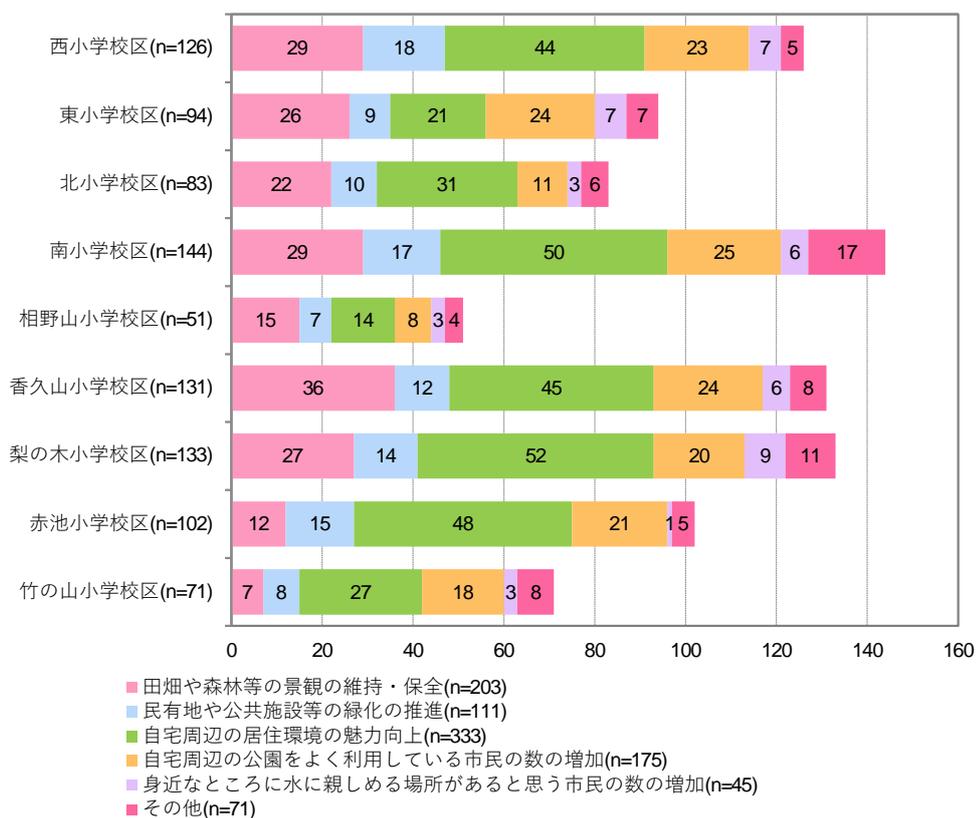
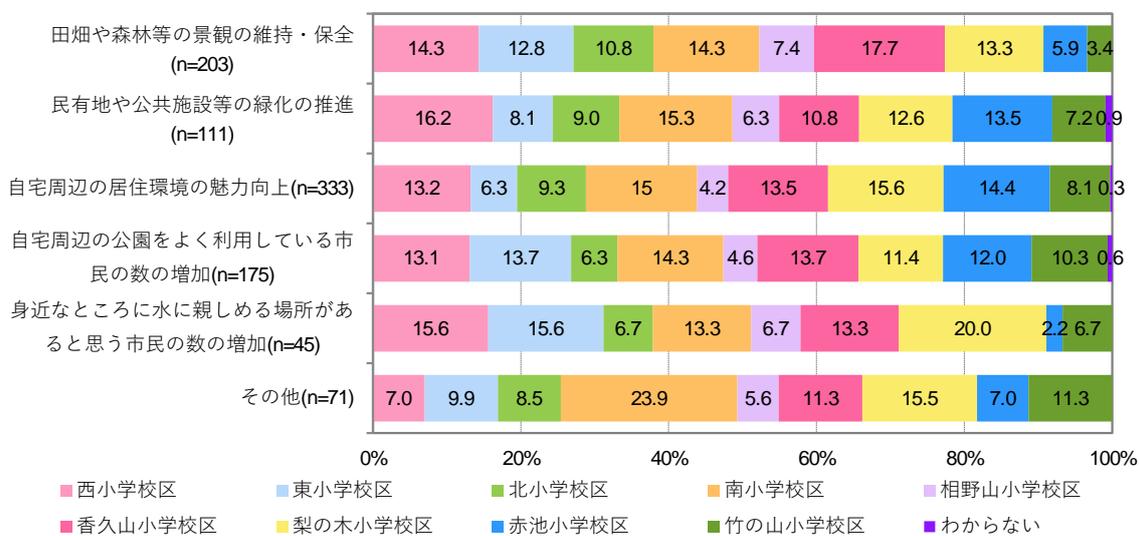
(2) 地域別の集計

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「田畑や森林等の景観の維持・保全」の回答が多くなっています。

西小学校区は、他の小学校区に比べ、「民有地や公共施設等の緑化の推進」の回答が多くなっています。

南小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「自宅周辺の居住環境の魅力向上」の回答が多くなっています。中でも、南小学校区は、「自宅周辺の公園をよく利用している市民の数の増加」の回答も、他の小学校区に比べ多くなっています。

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「身近なところに水に親しめる場所があると思う市民の数の増加」の回答が多くなっています。



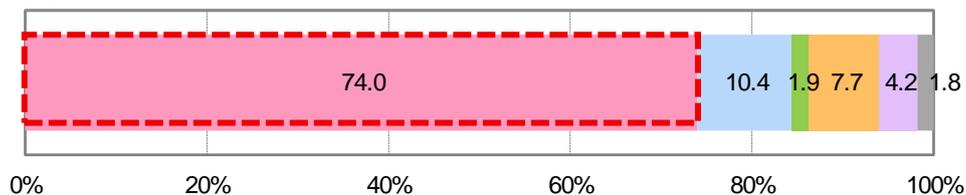
③今後の都市づくりについて

問12 今後、どのような住宅・住環境づくりを進めるとよいと思いますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「既成市街地の住環境の改善 (74.0%)」と半数以上を占めており、次いで「増加する人口の受け皿となる新たな住宅地づくり (10.4%)」、「現状のまま維持する (7.7%)」となっています。



■ 既成市街地の住環境の改善、良好な住環境の維持・保全 (空き家対策・狭い道路の改善等)

■ 増加する人口の受け皿となる新たな住宅地づくり

■ 既成市街地への中高層マンションの誘導等による増加する人口の収容

■ 現状のまま維持する

■ その他

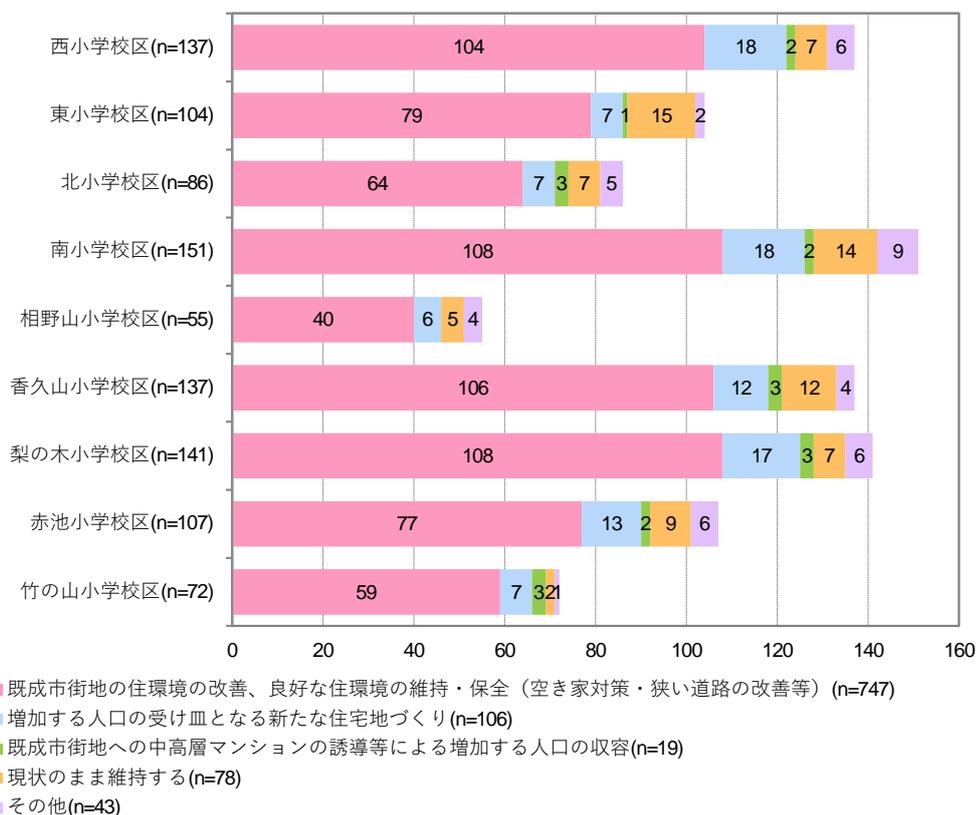
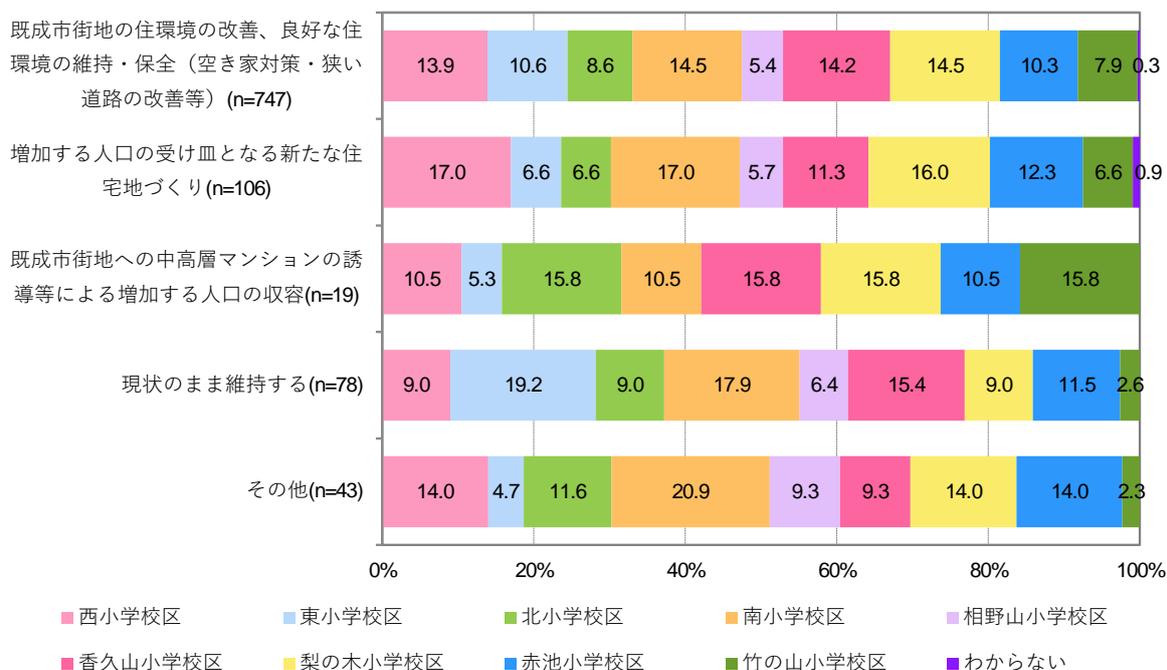
■ 不明

(2) 地域別の集計

南小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「既成市街地の住環境の改善、良好な住環境の維持・保全（空き家対策・狭い道路の改善等）」の回答が多くなっています。

西小学校区、南小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「増加する人口の受け皿となる新たな住宅地づくり」の回答が多くなっています。

東小学校区は、他の小学校区に比べ、「現状のまま維持する」の回答が多くなっています。

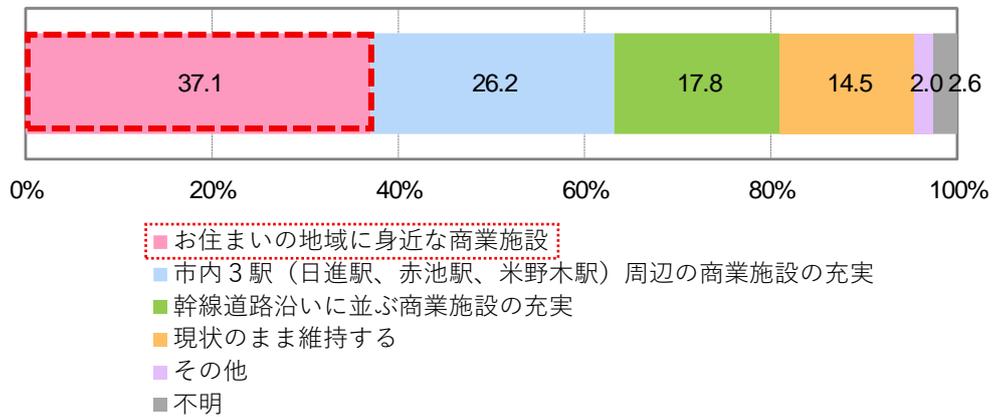


問13 今後、どのような商業施設が充実するとよいと思いますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「お住まいの地域に身近な商業施設 (37.1%)」となっており、次いで「市内3駅 (日進駅、赤池駅、米野木駅) 周辺の商業施設の充実 (26.2%)」、「幹線道路沿いに並ぶ商業施設の充実 (17.8%)」となっています。

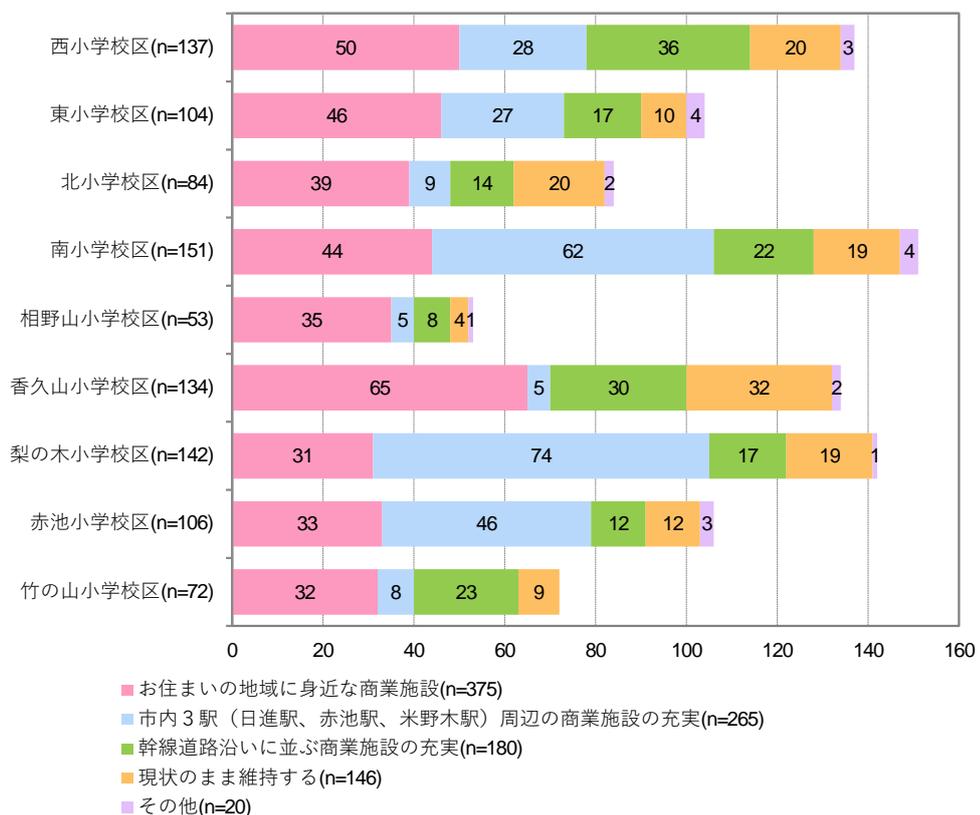
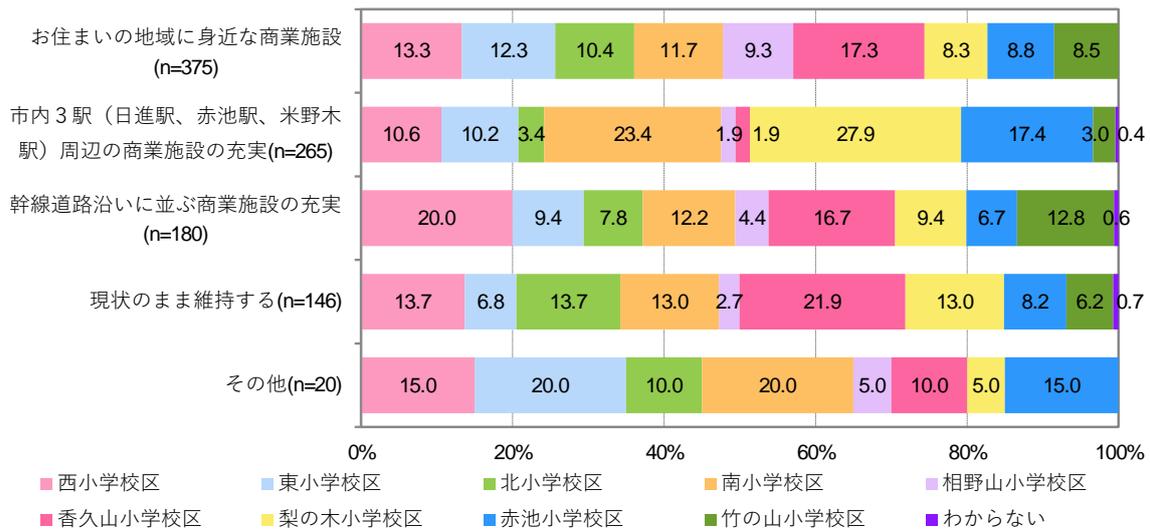


(2) 地域別の集計

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「お住まいの地域に身近な商業施設」、「現状のまま維持する」の回答が多くなっています。

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「市内3駅周辺の駅周辺の商業施設の充実」の回答が多くなっています。

西小学校区は、他の小学校区に比べ、「幹線道路沿いの商業施設の充実」の回答が多くなっています。

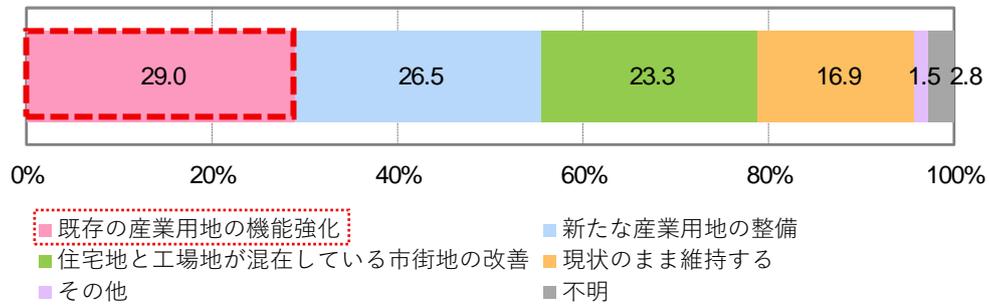


問14 今後、産業用地（商業用地・工業用地）をどのようにしていくとよいと思いますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「既存の産業用地の機能強化 (29.0%)」となっており、次いで「新たな産業用地の整備 (26.5%)」、「住宅地と工場地が混在している市街地の改善 (23.3%)」となっています。



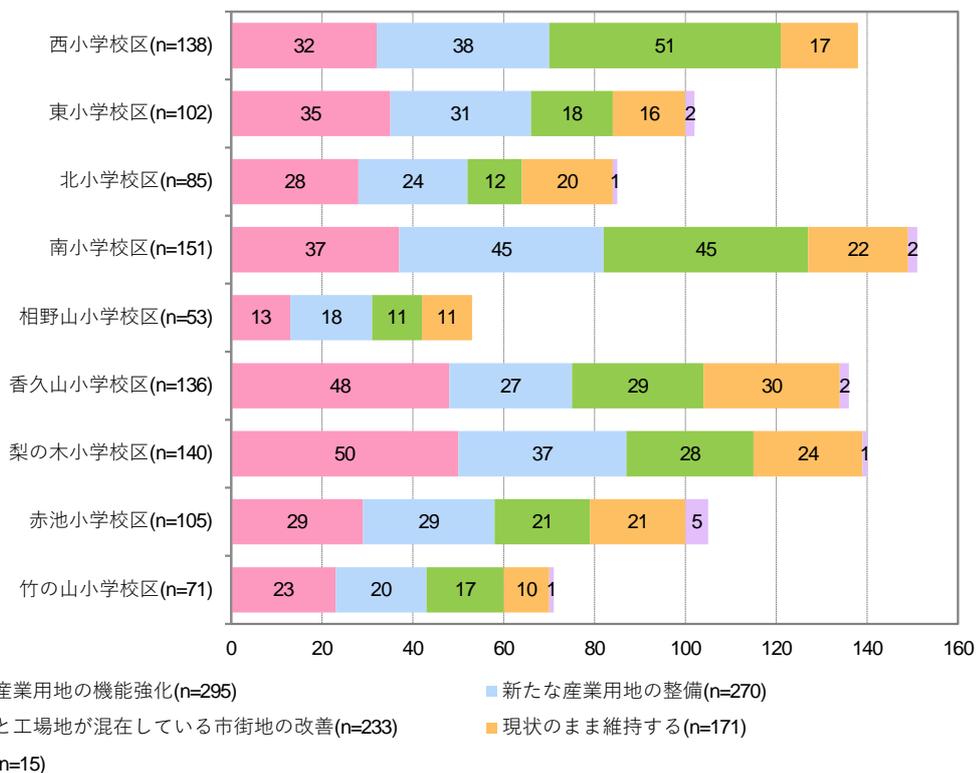
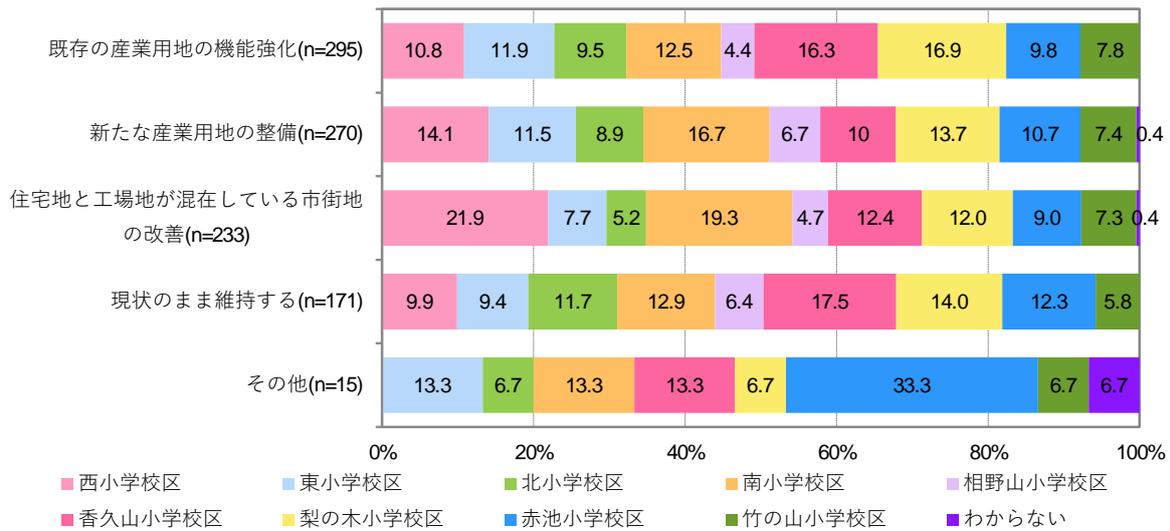
(2) 地域別の集計

香久山小学校区、梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「既存の産業用地の機能強化」の回答が多くなっています。

南小学校区は、他の小学校区に比べ、「新たな産業用地の整備」の回答が多くなっています。

西小学校区は、他の小学校区に比べ、「住宅地と工場地が混在している市街地の改善」の回答が多くなっています。

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「現状のまま維持する」の回答が多くなっています。

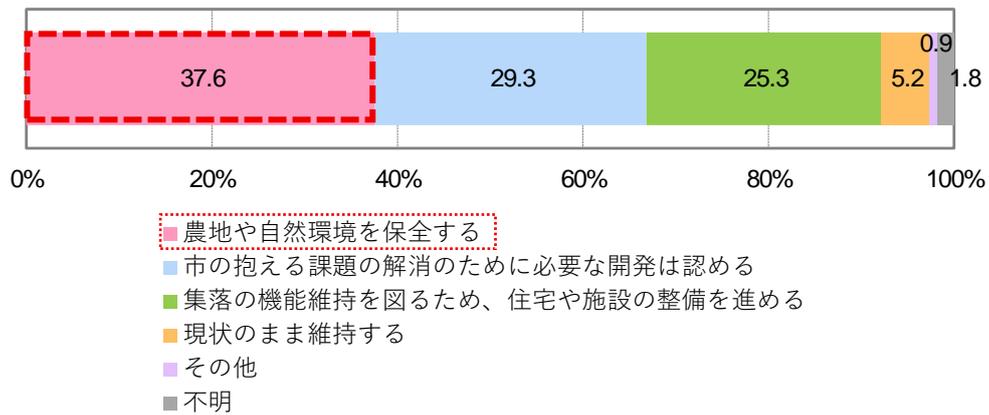


問15 今後、郊外の集落地（開発を抑制している地域）をどのようにしていくとよいと思いますか？

(1つに○)

(1) 全体集計

最も多いのが「農地や自然環境を保全する (37.6%)」となっており、次いで「市の抱える課題の解消のために必要な開発は認める (29.3%)」、「集落の機能維持を図るため、住宅や施設の整備を進める (25.3%)」となっています。



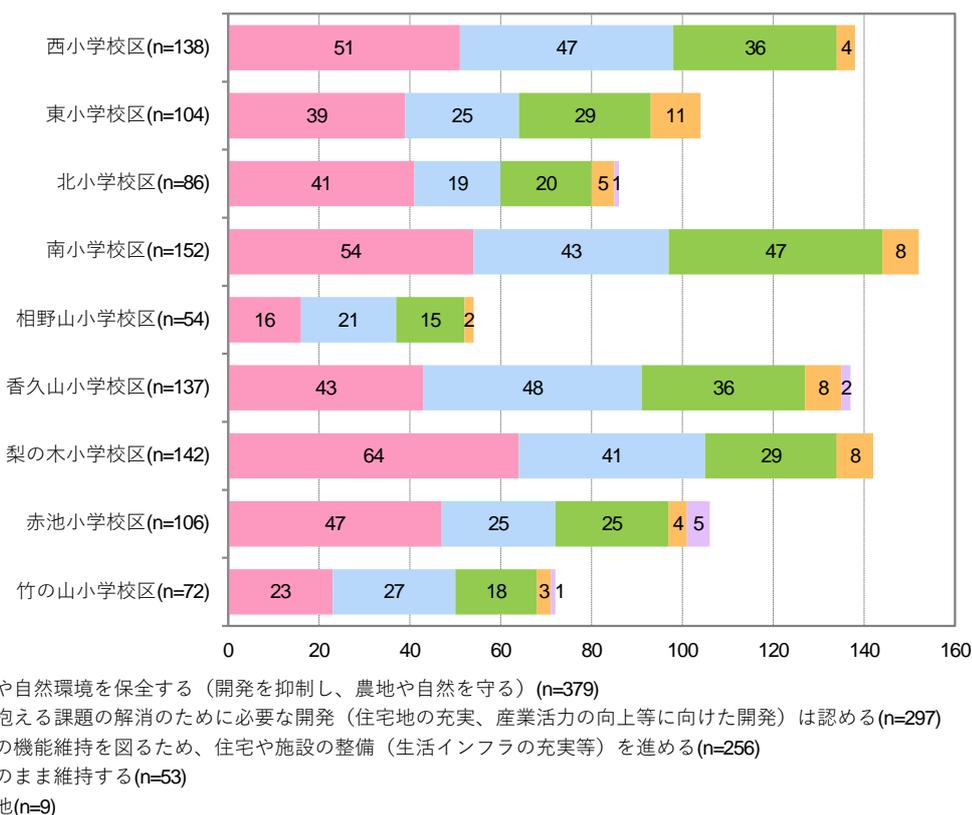
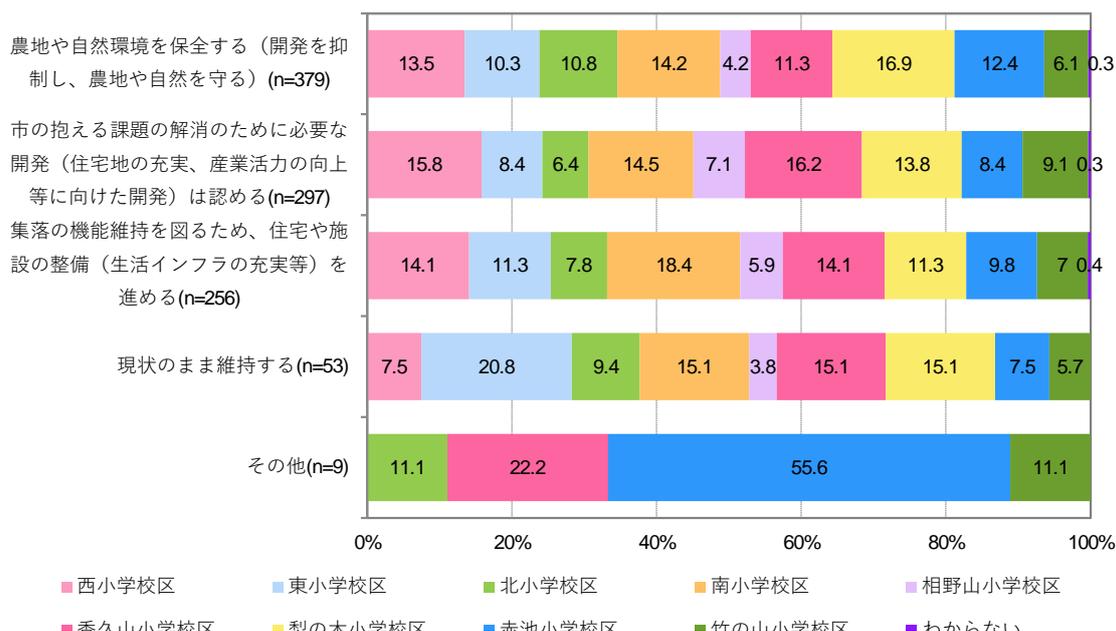
(2) 地域別の集計

梨の木小学校区は、他の小学校区に比べ、「農地や自然環境を保全する」の回答が多くなっています。

香久山小学校区は、他の小学校区に比べ、「市の抱える課題の解消のための必要な開発を認める」の回答が多くなっています。

南小学校区は、他の小学校区に比べ、「集落の機能維持を図るための整備」の回答が多くなっています。

東小学校区は、他の小学校区に比べ、「現状のまま維持する」の回答が多くなっています。



④日常生活の行動について

問16 (1)から(11)について、あなたが普段の生活の中で、よく利用する場所および利用頻度、その場所までの移動手段について、記入例を参考に、それぞれから1つ選び、その番号を記入してください。

(1つに○)

<よく利用する場所>

(1) 全体集計

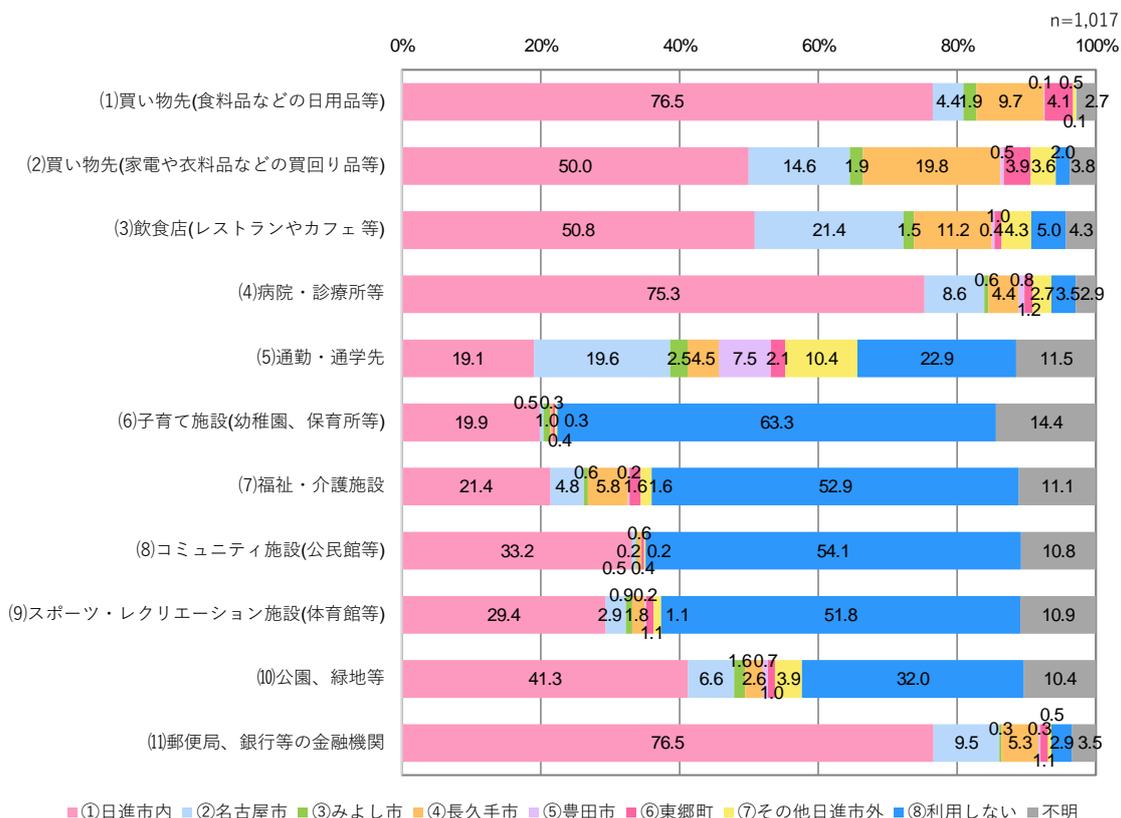
「買い物先(食料品などの日用品等)」「郵便局、銀行等の金融機関」は、いずれも「日進市内」が76.5%と最も高く、次いで「名古屋市」「長久手市」の順となっています。

「病院・診療所等」は「日進市内」が75.3%で最も高く、他地域と比べても市内利用の割合が高くなっています。

「買い物先(家電や衣料品などの買回り品等)」では「日進市内」が50.0%で最も高く、「長久手市」(19.8%)、「名古屋市」(14.6%)が続いています。

「飲食店(レストランやカフェ等)」は「日進市内」が50.8%で最も高く、「名古屋市」(21.4%)、「長久手市」(11.2%)の割合も一定程度見られます。

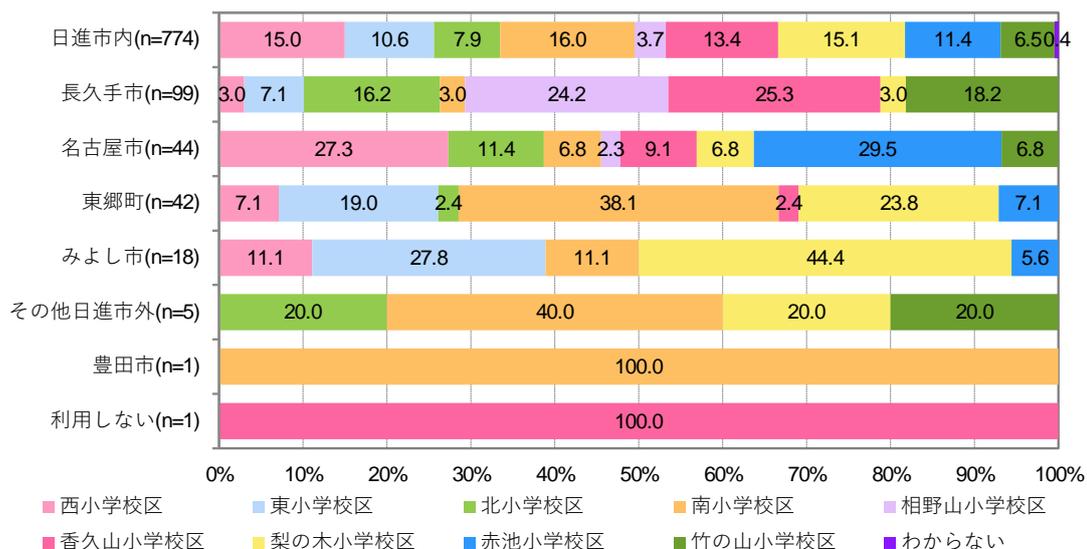
「通勤・通学先」では「名古屋市」(19.6%)に次いで「日進市内」(19.1%)、「その他日進市外」(10.4%)の順となっています。「子育て施設(幼稚園、保育所等)」は「日進市内」が19.9%、「福祉・介護施設」は21.4%でいずれも「利用しない」が最も多くなっています。「コミュニティ施設(公民館等)」は「日進市内」が33.2%で最も高くなっており、「スポーツ・レクリエーション施設(体育館等)」は「日進市内」が29.4%、「公園・緑地等」は「日進市内」が41.3%でいずれも最も多くなっています。



(2) 地域別の集計

(1) 買い物先(食料品などの日用品等)

日進市内を利用する割合が最も高いのは南小学校区 (16.0%) と西小学校区 (15.0%)、梨の木小学校区 (15.1%) となっています。長久手市を最も多く利用しているのは香久山小学校区 (25.3%) で、東小学校区 (7.1%) や北小学校区 (16.2%) も比較的高くなっています。名古屋市を利用する割合が高いのは赤池小学校区 (29.5%) と西小学校区 (27.3%) で、これらの地域は隣接自治体への買物流出がやや大きい傾向にあります。東郷町を利用しているのは南小学校区 (38.1%) や梨の木小学校区 (23.8%) が高くなっています。



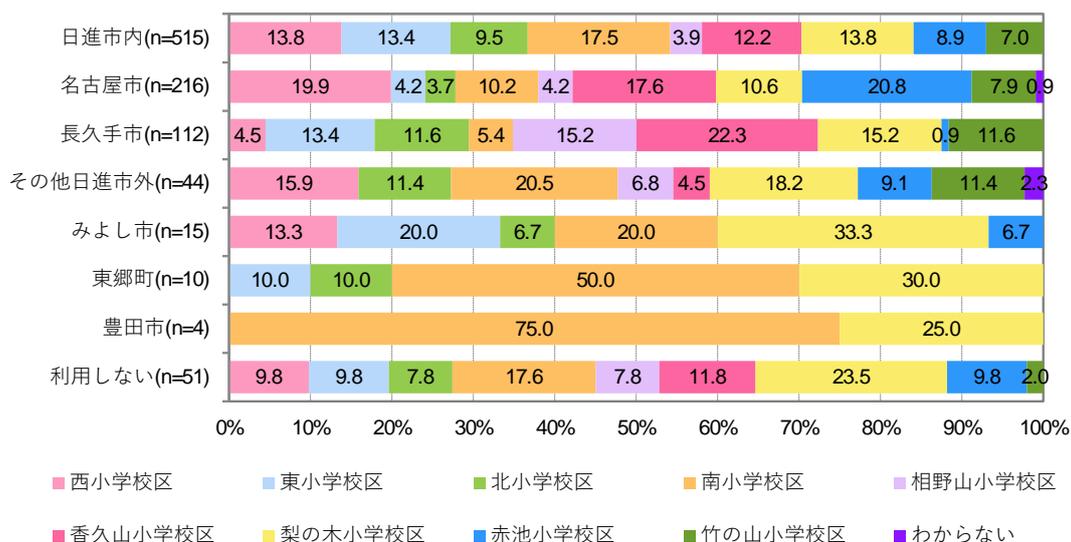
(2) 買い物先(家電や衣料品などの買回り品等)

長久手市を利用する割合最も高いのは香久山小学校区 (24.5%) で、次いで竹の山小学校区・相野山小学校区 (14.5%) が高くなっており、これらの地域では長久手方面への買い物傾向が見られます。また、名古屋市を利用する割合が最も高いのは赤池小学校区 (20.5%) で、東郷町を利用する割合が最も高いのは梨の木小学校区 (30.8%) となっています。全体として、市外の多様な商業施設を選択する傾向に地域差が見られます。



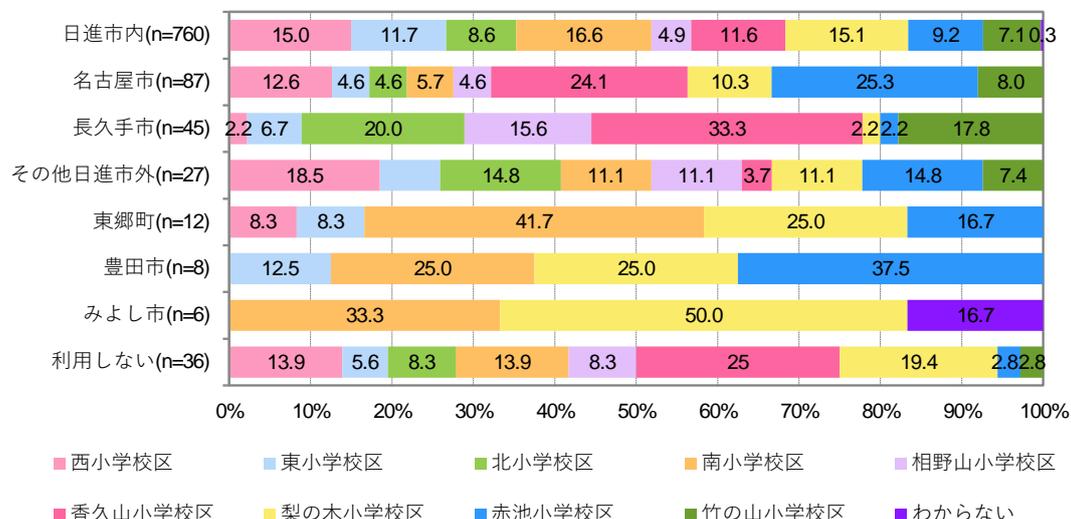
(3) 飲食店(レストランやカフェ等)

日進市内を最も利用しているのは南小学校区(17.5%)であり、香久山小学校区(12.2%)、梨の木小学校区(13.8%)も高い傾向にあります。名古屋市の利用割合が高いのは赤池小学校区(20.8%)や香久山小学校区(17.6%)であり、これらの地域では市外への外食傾向がみられます。長久手市の利用は香久山小学校区(22.3%)や相野山小学校区(15.2%)、梨の木小学校区(15.2%)で比較的高くなっています。



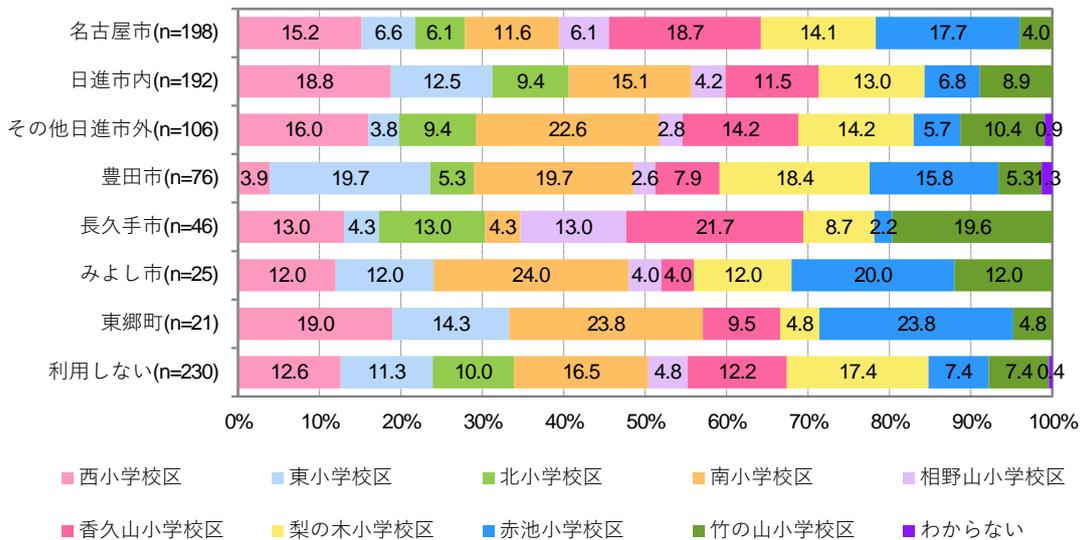
(4) 病院・診療所等

日進市内との回答が多いのは南小学校区(16.6%)、梨の木小学校区(15.1%)、西小学校区(15.0%)などとなり、市内での利用が目立ちます。一方、名古屋市との回答が高いのは赤池小学校区(25.3%)や香久山小学校区(24.1%)であり、他市での通院傾向がみられます。また、長久手市と回答した割合が高いのは香久山小学校区(33.3%)や北小学校区(20.0%)となっています。



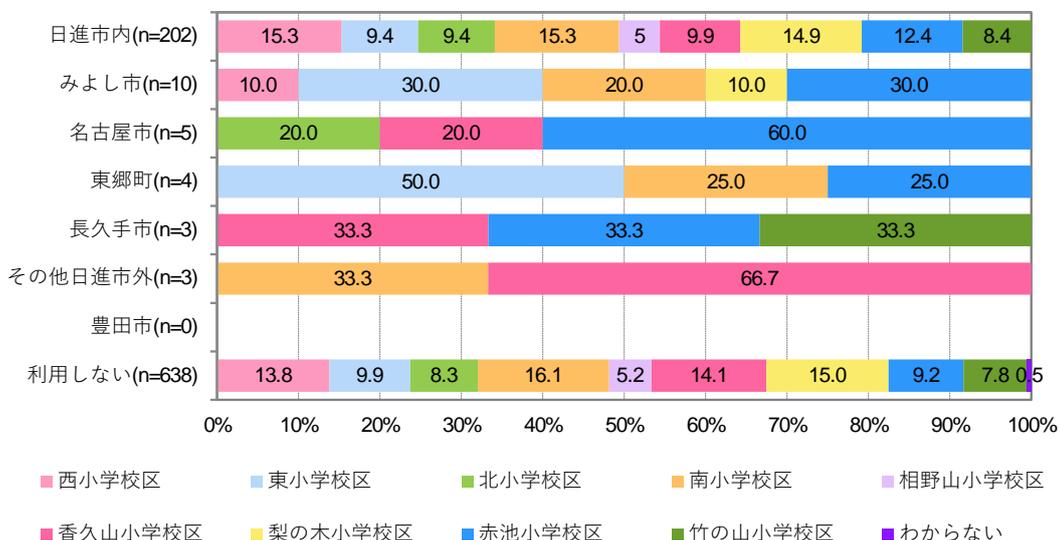
(5) 通勤・通学先

通勤・通学先として日進市内を選んだ割合は、南小学校区（15.1%）、東小学校区（12.5%）、西小学校区（18.8%）が比較的高くなっています。一方、「名古屋市」を選んだ割合が高いのは香久山小学校区（18.7%）、赤池小学校区（17.7%）、西小学校区（15.2%）となっており、特に香久山・赤池両区の名古屋市への通勤・通学の傾向が目立ちます。また、豊田市は東小学校区（19.7%）、南小学校区（19.7%）が高く、長久手市は香久山小学校区（21.7%）と竹の山小学校区（19.6%）で高くなっています。



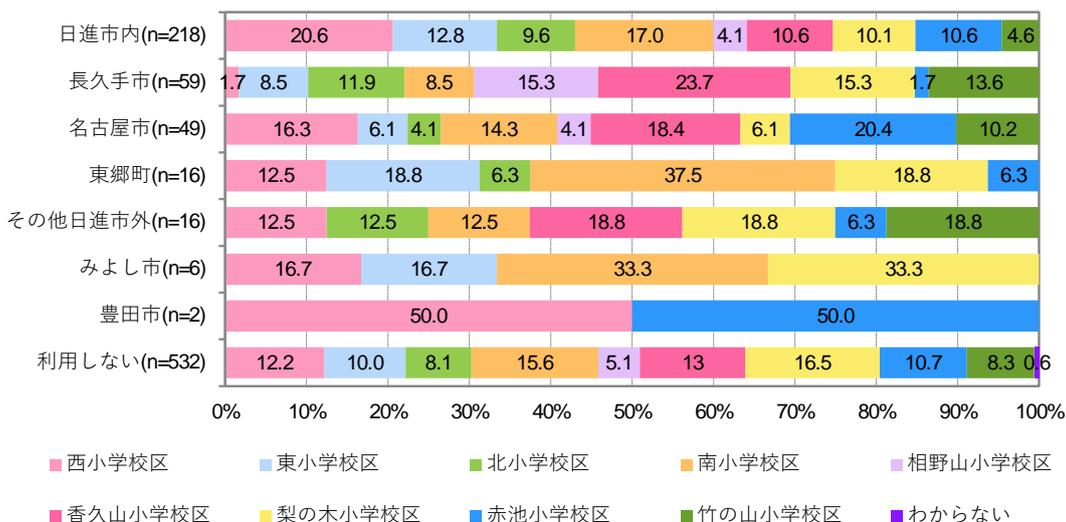
(6) 子育て施設(幼稚園、保育所等)

日進市内を選んだ割合が最も高かったのは西小学校区・南小学校区（15.3%）で、次いで梨の木小学校区（14.9%）、赤池小学校区（12.4%）となっています。一方で、竹の山小学校区（8.4%）、香久山小学校区（9.9%）は比較的低い割合にとどまっています。みよし市を選んだ割合が高いのは東小学校区・赤池小学校区（30.0%）となっており、赤池小学校区では名古屋市（60.0%）や東郷町（25.0%）を選んだ割合も高く、日進市外の施設を利用する傾向があります。



(7) 福祉・介護施設

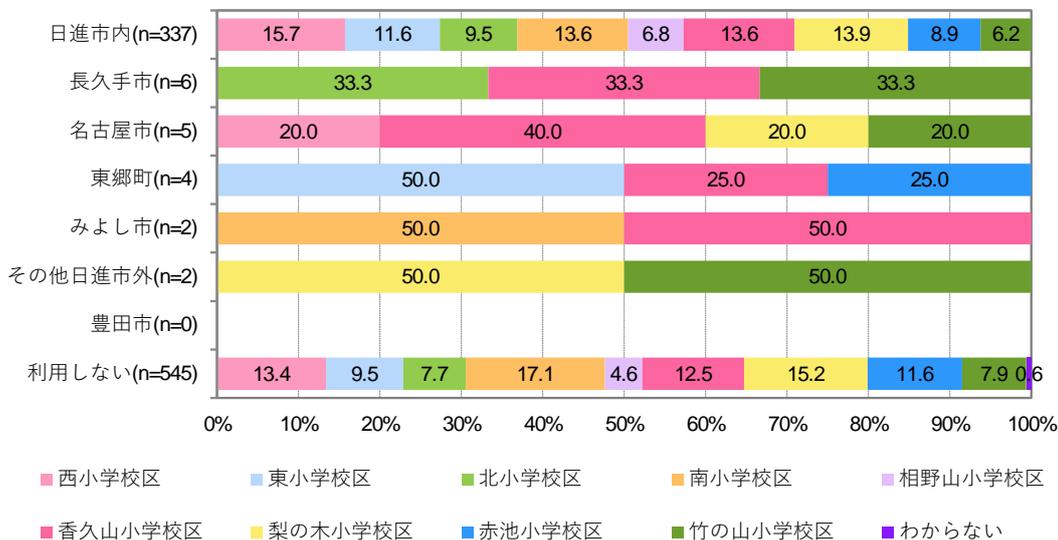
日進市内を選んだ割合は、西小学校区（20.6%）が最も高く、次いで南小学校区（17.0%）となっています。名古屋市内では赤池小学校区（20.4%）と香久山小学校区（18.4%）が高く、長久手市内では香久山小学校区（23.7%）が突出しています。梨の木小学校区や相野山小学校区も15%前後となっており、長久手市への依存が一定程度見られます。東郷町を選んだ割合が最も高いのは南小学校区（37.5%）であり、東小学校区、梨の木小学校区でも18%台となっています。また、竹の山小学校区はその他日進市外（18.8%）や長久手市（13.6%）が多くなっています。



(8) コミュニティ施設(公民館等)

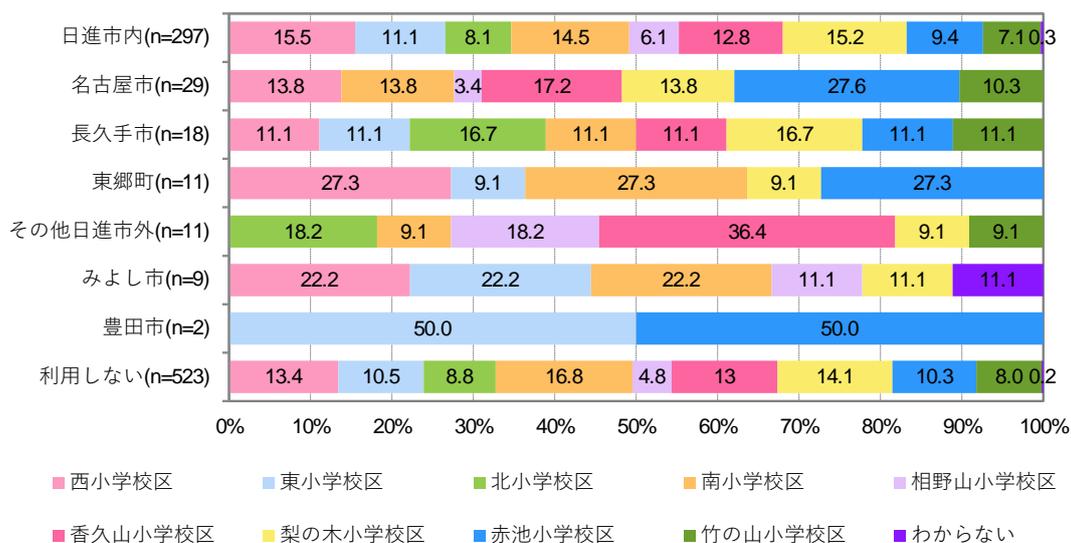
日進市内を選んだ割合が最も高いのは西小学校区（15.7%）で、次いで南小学校区（13.6%）、香久山小学校区（13.6%）、梨の木小学校区（13.9%）が比較的高くなっています。

一方、竹の山小学校区（6.2%）や相野山小学校区（6.8%）、赤池小学校区（8.9%）では10%未満と低い水準となっています。日進市外の利用については、北小学校区では長久手市（33.3%）、香久山小学校区では名古屋市（40.0%）と東郷町（25.0%）が高くなっています。



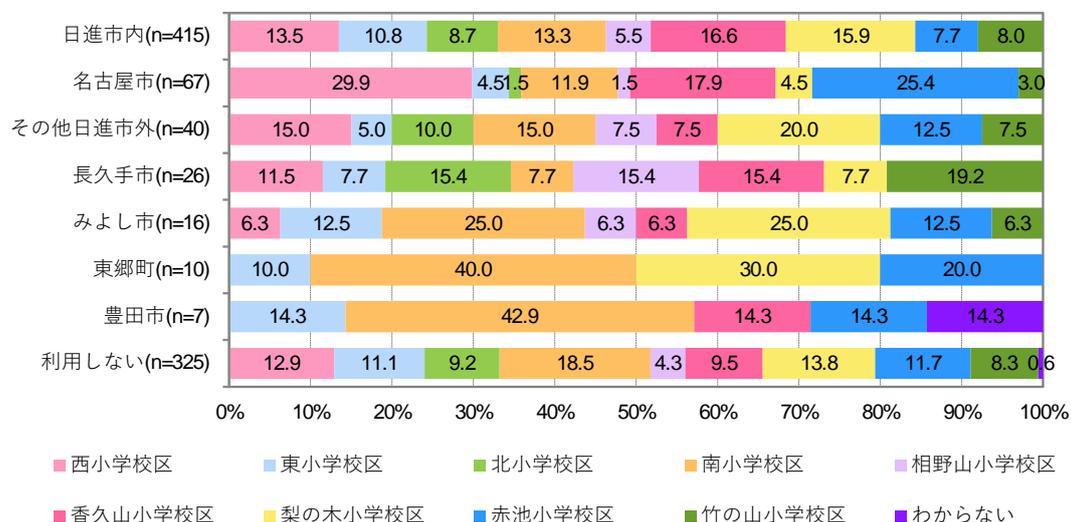
(9) スポーツ・レクリエーション施設(体育館等)

日進市内を選んだ割合が最も高いのは西小学校区(15.5%)、次いで梨の木小学校区(15.2%)、香久山小学校区(12.8%)、南小学校区(14.5%)となっています。一方、名古屋市と回答した割合が最も高かったのは赤池小学校区(27.6%)で、次いで香久山小学校区(17.2%)、西小学校区(13.8%)、南小学校区(13.8%)、梨の木小学校区(13.8%)となっています。また、長久手市を選んだ割合が最も高いのは北小学校区(16.7%)、梨の木小学校区(16.7%)でした。全体としては、西部や南部の小学校区で名古屋市の施設を利用する傾向がみられ、北部や東部では長久手市も一定程度利用されています。



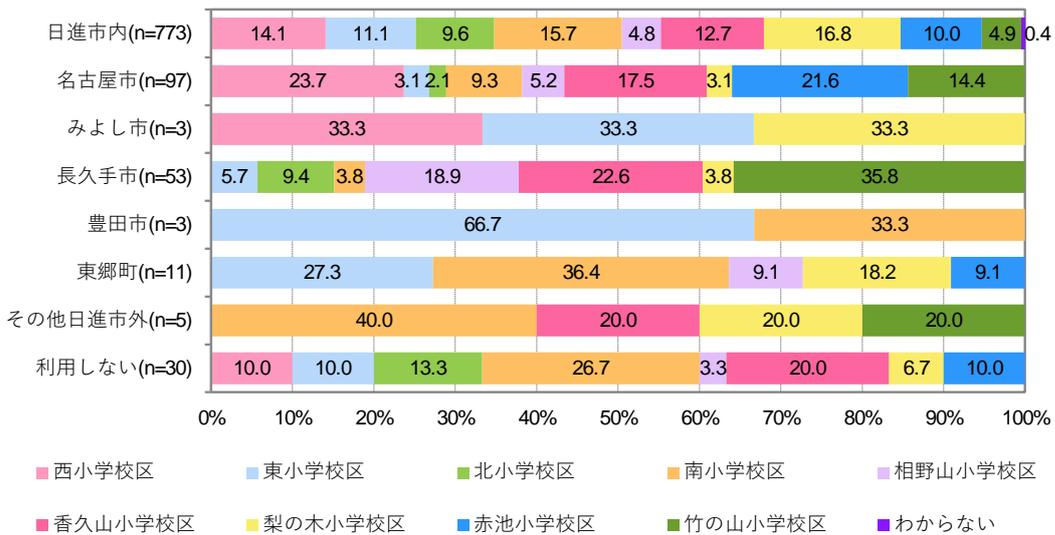
(10) 公園、緑地等

香久山小学校区では日進市内を選んだ割合が16.6%と最も高く、梨の木小学校区(15.9%)、西小学校区(13.5%)、南小学校区(13.3%)がこれに続いています。名古屋市を選んだ割合が高いのは香久山小学校区(17.9%)と西小学校区(29.9%)で、長久手市を選んだ割合が高いのは竹の山小学校区(19.2%)となっています。一方、日進市外の他市町では小学校区ごとのばらつきがあり、特定の地域に偏った傾向はみられません。全体としては、身近な日進市内の公園・緑地



(11) 郵便局、銀行等の金融機関

日進市内を選んだ割合が最も高いのは梨の木小学校区(16.8%)、次いで南小学校区(15.7%)、西小学校区(14.1%)、香久山小学校区(12.7%)となっています。名古屋市を選んだ割合が高いのは西小学校区(23.7%)と赤池小学校区(21.6%)であり、長久手市は竹の山小学校区(35.8%)が多くなっています。



<利用頻度>

(1) 全体集計

「買い物先（食料品などの日用品等）」は「週1～2日程度」が41.8%で最も多く、次いで「週3～4日程度」が36.9%、「週5日以上」も11.4%と、日常的な頻度での利用が多い結果となっています。「買い物先（家電や衣料品などの買回り品等）」は「月1日程度」が45.4%で最多となっており、「月2～3日程度」が29.1%、「週1～2日程度」が15.0%となっています。

「飲食店（レストランやカフェ等）」では「月2～3日程度」が34.4%と最も多く、「週1～2日程度」と「月1日程度」がいずれも25.0%となっています。

「病院・診療所等」は「月1日程度」が60.4%と過半を占め、「月2～3日程度」が19.8%で続いています。

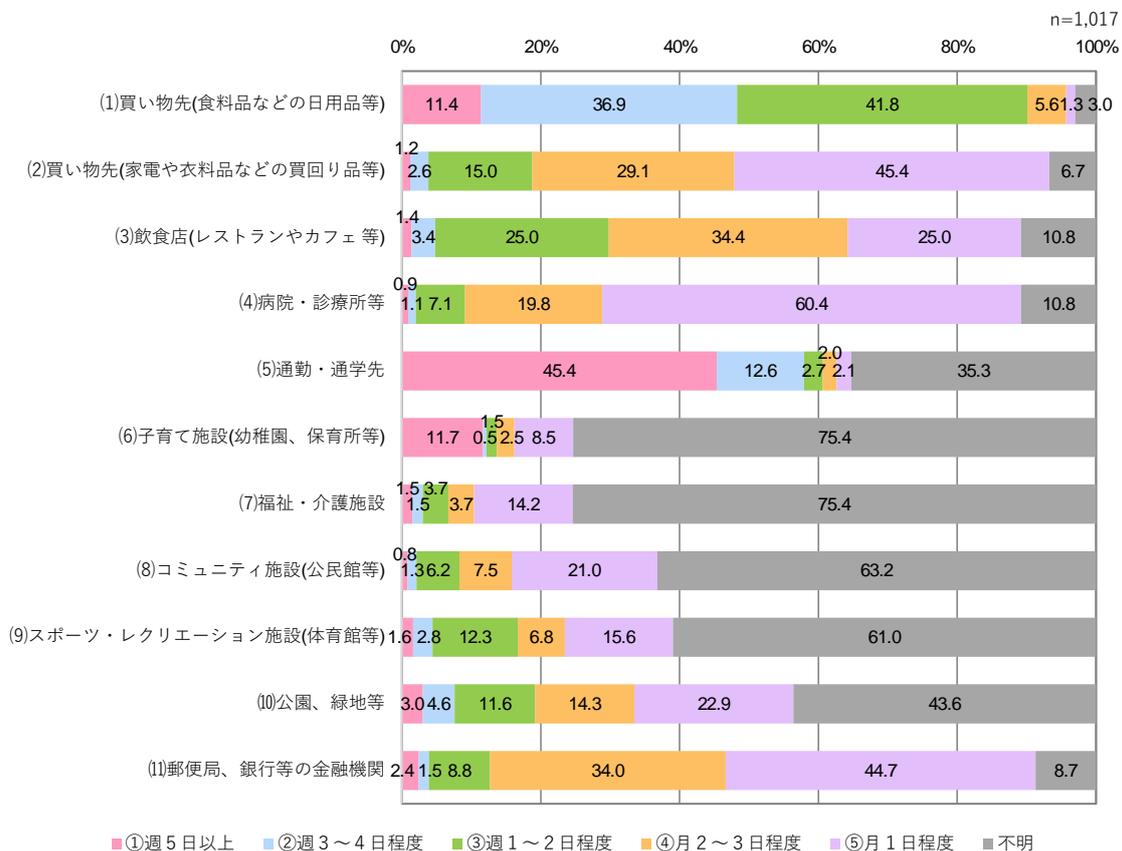
「通勤・通学先」は「週5日以上」が45.4%で最も多く、日常的な通勤・通学が多い傾向となっています。

「子育て施設（幼稚園、保育所等）」では「週5日以上」が11.7%、「月1日程度」が8.5%となっています。「福祉・介護施設」は「月1日程度」が14.2%、「週1～2日程度」と「月2～3日程度」が3.7%となっています。

「コミュニティ施設（公民館等）」は「月1日程度」が21.0%、「月2～3日程度」が7.5%となっています。「スポーツ・レクリエーション施設」は「月1日程度」が15.6%で最も多く、「週1～2日程度」が12.3%で続いています。

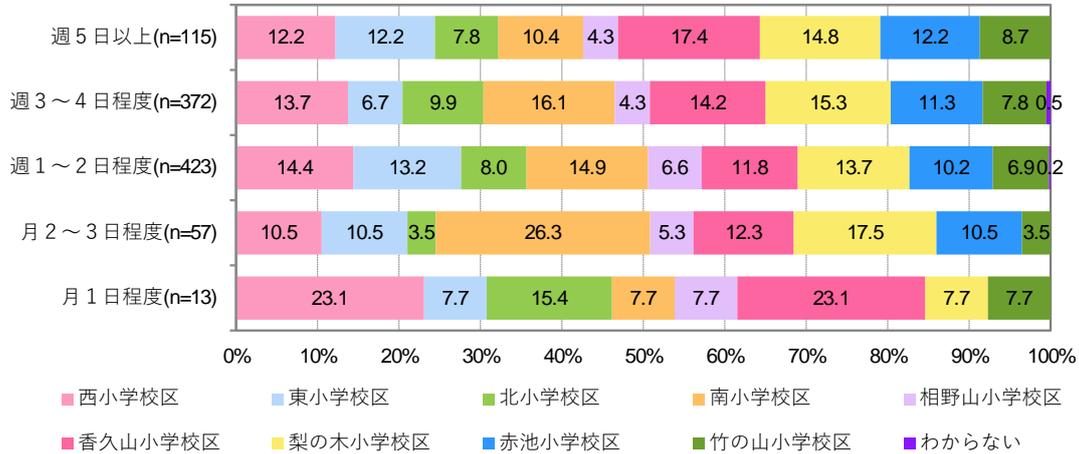
「公園・緑地等」は「月1日程度」が22.9%、「月2～3日程度」が14.3%となっています。

「郵便局、銀行等の金融機関」は「月1日程度」が44.7%、「月2～3日程度」が34.0%となっています。



(1) 買い物先(食料品などの日用品等)

週5日以上の利用が多いのは香久山小学校区(17.4%)と東小学校区(12.2%)、西小学校区(12.2%)です。週3~4日程度では南小学校区(16.1%)、西小学校区(13.7%)、香久山小学校区(14.2%)、梨の木小学校区(15.3%)が高く、週1~2日程度でも同様に西小学校区(14.4%)、南小学校区(14.9%)、梨の木小学校区(13.7%)が上位に並びます。



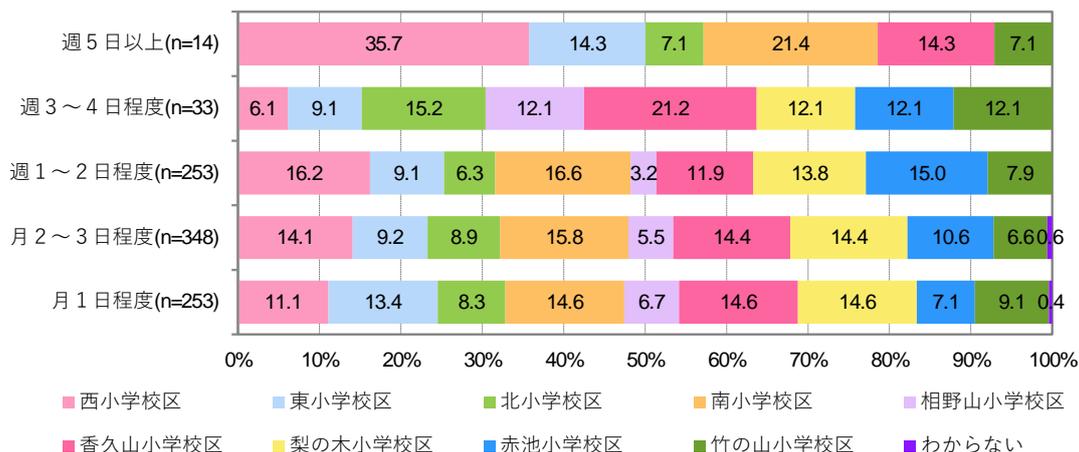
(2) 買い物先(家電や衣料品などの買回り品等)

週1~2日程度の利用が最も多いのは西小学校区(15.8%)で、次いで梨の木小学校区(11.8%)、東小学校区(11.2%)となっています。月2~3日程度では梨の木小学校区(17.2%)、南小学校区(15.2%)、赤池小学校区(13.2%)が高く、月1日程度の利用も南小学校区(16.2%)、香久山小学校区(15.5%)、梨の木小学校区(14.8%)が高くなっています。



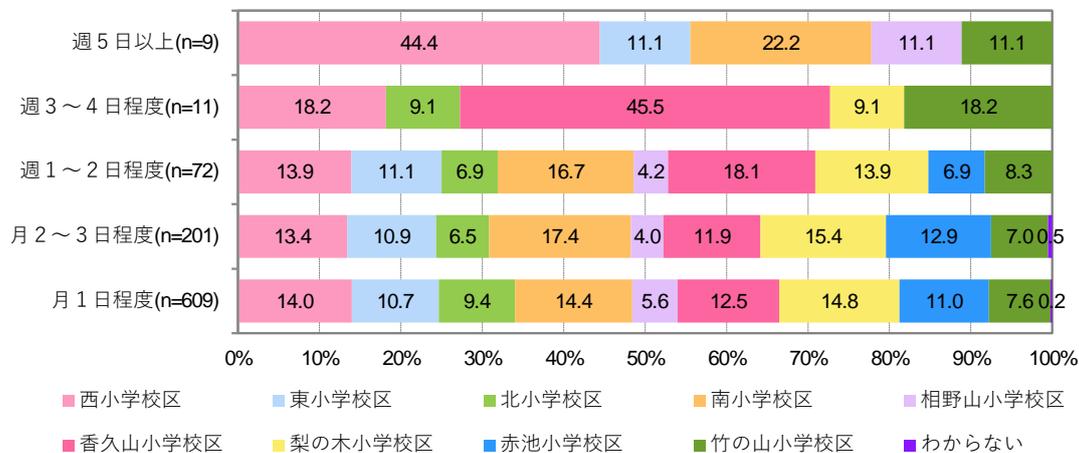
(3) 飲食店(レストランやカフェ等)

週1～2日程度の利用は南小学校区(16.6%)が最も高く、西小学校区(16.2%)、香久山小学校区(15.0%)がこれに続いています。月2～3日程度では南小学校区(15.8%)、香久山小学校区・梨の木小学校区(14.4%)、西小学校区(14.1%)が高く、月1日程度では南小学校区・香久山小学校区・梨の木小学校区(14.6%)、東小学校区(13.4%)が高くなっています。



(4) 病院・診療所等

週1～2日程度の利用は香久山小学校区(18.1%)、南小学校区(16.7%)、西小学校区・梨の木小学校区(ともに13.9%)が高くなっています。月2～3日程度の利用では南小学校区(17.4%)、梨の木小学校区(15.4%)、赤池小学校区(12.9%)が上位に位置します。週3～4日程度では香久山小学校区(45.5%)が突出して高く、西小学校区(18.2%)、竹の山小学校区(18.2%)が続いています。



(5) 通勤・通学先

週5日以上の利用は南小学校区（15.7%）、西小学校区（14.1%）、香久山小学校区（14.8%）が比較的高い水準となっています。週1～2日程度では南小学校区と香久山小学校区（ともに22.2%）が最も高くなっています。月2～3日程度では南小学校区（25.0%）が突出しており、赤池小学校区（30.0%）も高くなっています。



(6) 子育て施設(幼稚園、保育所等)

週5日以上の利用が最も多いのは西小学校区（18.5%）で、南小学校区（16.0%）、赤池小学校区（16.8%）がこれに続いています。週1～2日程度では西小学校区・南小学校区・香久山小学校区（20.0%）が高くなっています。また、週3～4日程度の利用は香久山小学校区（40.0%）が他の地域に比べて高くなっています。



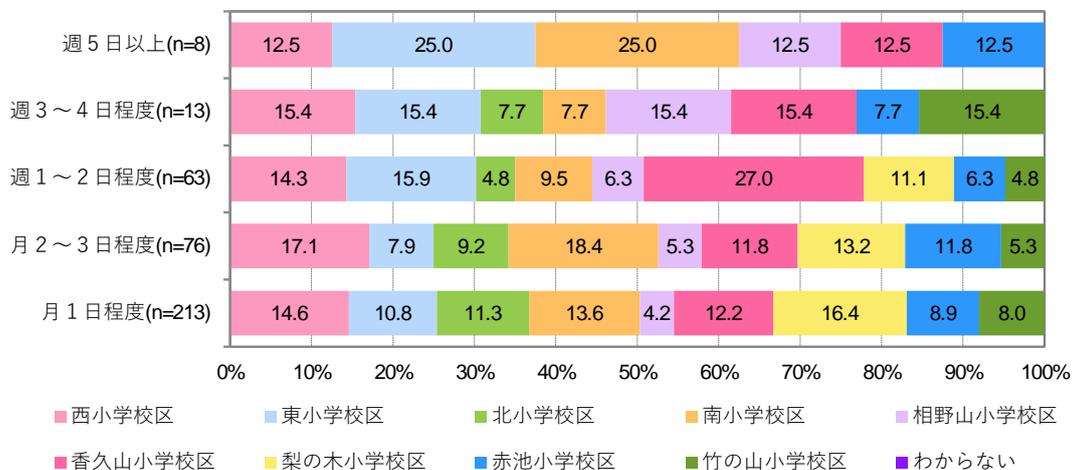
(7) 福祉・介護施設

週5日以上の利用が最も高いのは南小学校区（40.0%）で、西小学校区（20.0%）、東小学校区（13.3%）がこれに続いています。週1～2日程度の利用では、西小学校区（23.7%）、南小学校区（21.1%）が高くなっています。週3～4日程度の利用では、香久山小学校区（33.3%）が突出しています。



(8) コミュニティ施設(公民館等)

週5日以上の利用は南小学校区・東小学校区（25.0%）が最も高く、次いで西小学校区・相野山小学校区・香久山小学校区・赤池小学校区（12.5%）となっています。週1～2日程度の利用は香久山小学校区（27.0%）が最も高く、東小学校区（15.9%）、西小学校区（14.3%）がこれに続いています。月2～3日程度の利用は南小学校区（18.4%）、西小学校区（17.1%）、梨の木小学校区（13.2%）の順で高くなっています。



(9) スポーツ・レクリエーション施設(体育館等)

週5日以上の利用が最も高いのは東小学校区・南小学校区・赤池小学校区（18.8%）で、次いで西小学校区・梨の木小学校区（12.5%）が高くなっています。週3～4日程度では南小学校区が28.6%と突出しており、頻度の高い利用者が多い傾向がある。週1～2日程度の利用は西小学校区・梨の木小学校区（16.9%）で最も高く、香久山小学校区（14.5%）がこれに続いています。月2～3日程度の利用は西小学校区（17.4%）が最も高く、南小学校区（14.5%）、赤池小学校区（11.6%）がこれに続いています。



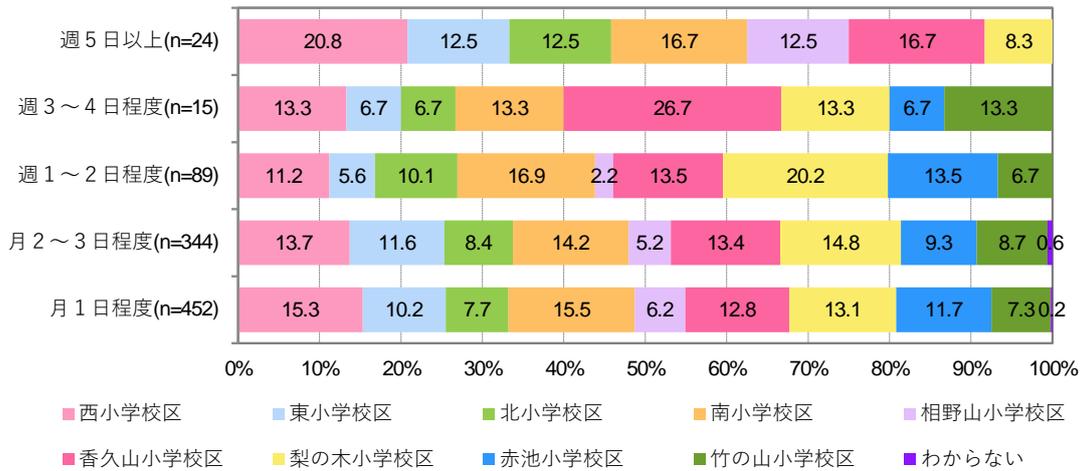
(10) 公園、緑地等

週5日以上の利用が最も高いのは西小学校区（20.7%）で、北小学校区（17.2%）と香久山小学校区（17.2%）がこれに続いている。週3～4日程度では香久山小学校区（14.9%）と竹の山小学校区（14.9%）が最も高い。週1～2日程度では香久山小学校区（20.5%）、南小学校区（17.1%）、赤池小学校区（14.5%）の順に高くなっている。月2～3日程度では梨の木小学校区（18.6%）、西小学校区（14.5%）、南小学校区（15.2%）が高く、特に香久山・西・南小学校区で高頻度の利用傾向が目立つ一方、相野山や竹の山小学校区ではやや低くなっています。



(11) 郵便局、銀行等の金融機関

週5日以上の利用が最も高いのは西小学校区（20.8%）、次いで南小学校区・香久山小学校区（16.7%）、東小学校区・北小学校区（12.5%）の順となっている。週3～4日程度の利用では香久山小学校区（26.7%）が突出して高く、次いで西小学校区・南小学校区・梨の木小学校区・竹の山小学校区（13.3%）となっています。週1～2日程度では梨の木小学校区（20.2%）、南小学校区（16.9%）、香久山小学校区・赤池小学校区（13.5%）の順に多く、月2～3日程度では西小学校区（13.7%）と梨の木小学校区（14.8%）が高くなっています。



<主な移動手段>

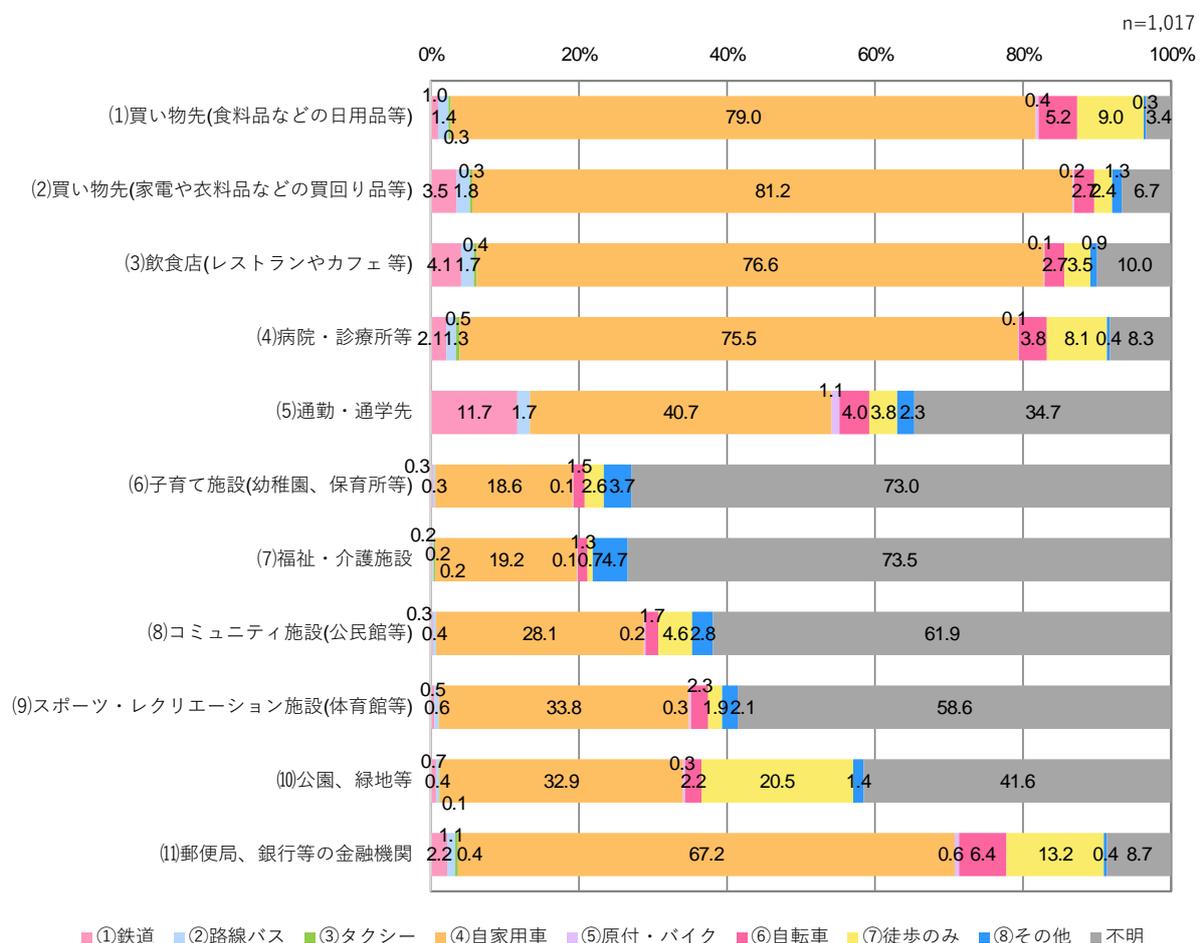
(1) 全体集計

主な移動手段としては、いずれの行先においても「自家用車」の割合が最も高く、特に「買い物先（家電や衣料品などの買回り品等）」や「飲食店」、「病院・診療所等」では70%を超えており、日常の移動において自家用車が中心的な手段となっています。

一方で、「通勤・通学先」では「①鉄道」が11.7%、「②路線バス」が1.7%となっており、他の行先に比べて公共交通機関の利用が多く見られます。

「公園・緑地等」では「⑦徒歩のみ」が20.5%と比較的高く、徒歩によるアクセスの割合が大きいことが特徴です。「(8)コミュニティ施設（公民館等）」では「⑦徒歩のみ」が4.6%、「⑥自転車」が1.7%と、徒歩や自転車による近距離移動が一部で見られます。

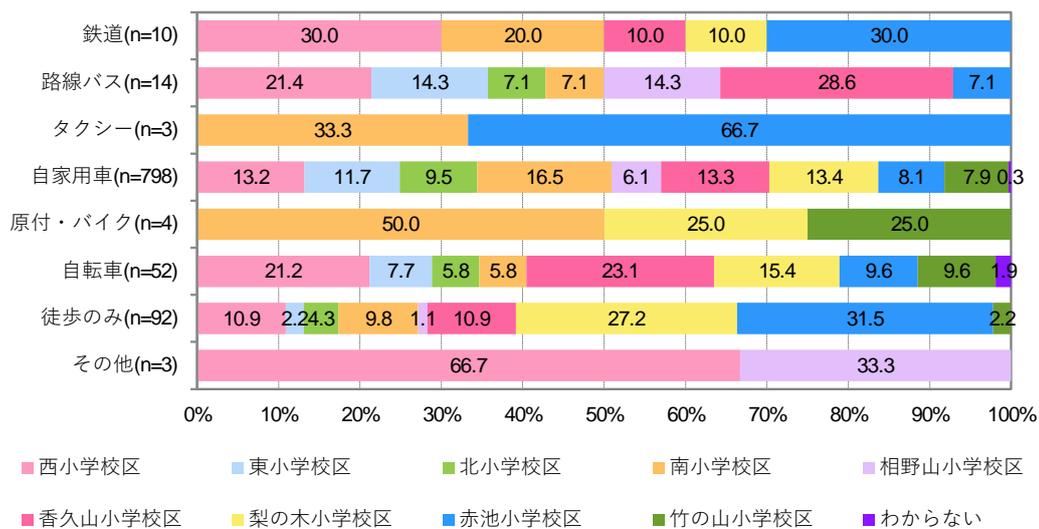
タクシーや路線バス、原付・バイクはいずれの行先でも利用率が1%未満となっており、移動手段としては限定的となっています。



(2) 地域別の集計

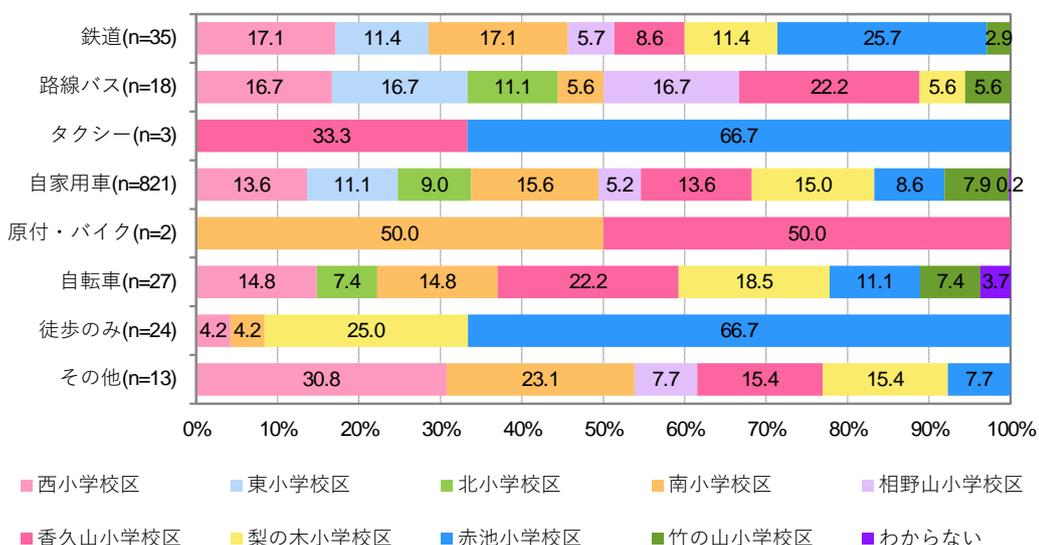
(1) 買い物先(食料品などの日用品等)

自家用車での移動が最も多く、特に南小学校区(16.5%)、香久山小学校区(13.3%)、梨の木小学校区(13.4%)、西小学校区(13.2%)の順に高くなっています。徒歩のみの移動では赤池小学校区(31.5%)が最も高く、次いで梨の木小学校区(27.2%)、西小学校区・香久山小学校区(10.9%)の順となっています。自転車利用は香久山小学校区(23.1%)、西小学校区(21.2%)が高く、鉄道の移動では西小学校区・赤池小学校(30.0)、南小学校区(20.0)、香久山小学校区・梨の木小学校区(10.0)と5つの小学校区で見られます。



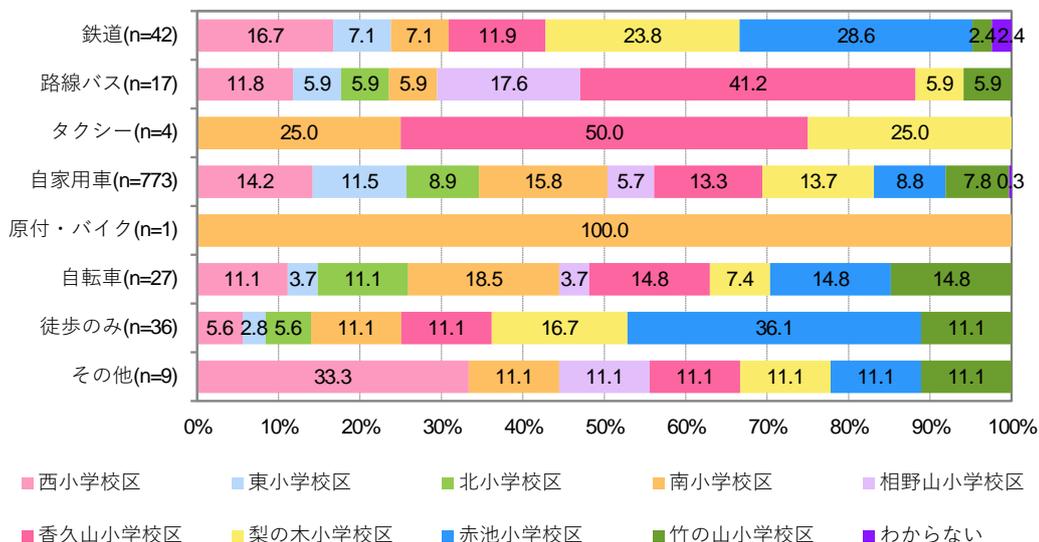
(2) 買い物先(家電や衣料品などの買回り品等)

自家用車の利用が最も多く、南小学校区(15.6%)、香久山小学校区(13.6%)、西小学校区(13.6%)、東小学校区(11.1%)が上位に並んでいます。鉄道利用は赤池小学校区(25.7%)が最も高く、西小学校区と南小学校区(いずれも17.1%)が続いています。路線バスの利用は香久山小学校区(22.2%)が突出しており、相野山、東、西小学校区でも16.7%と高くなっています。



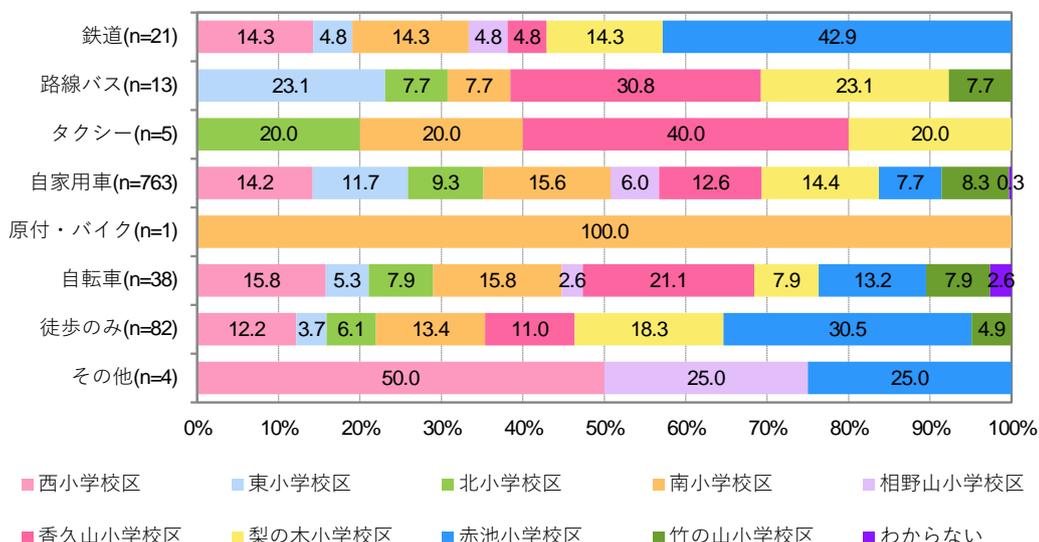
(3) 飲食店(レストランやカフェ等)

自家用車での利用が多く、南小学校区(15.8%)、西小学校区(14.2%)、香久山小学校区(13.3%)、梨の木小学校区(13.7%)などが高くなっています。徒歩のみは赤池小学校区(36.1%)、梨の木小学校区(16.7%)で高く、鉄道は赤池小学校区(28.6%)や香久山小学校区(23.8%)で利用されています。路線バスの利用は香久山小学校区(41.2%)が顕著となっています。



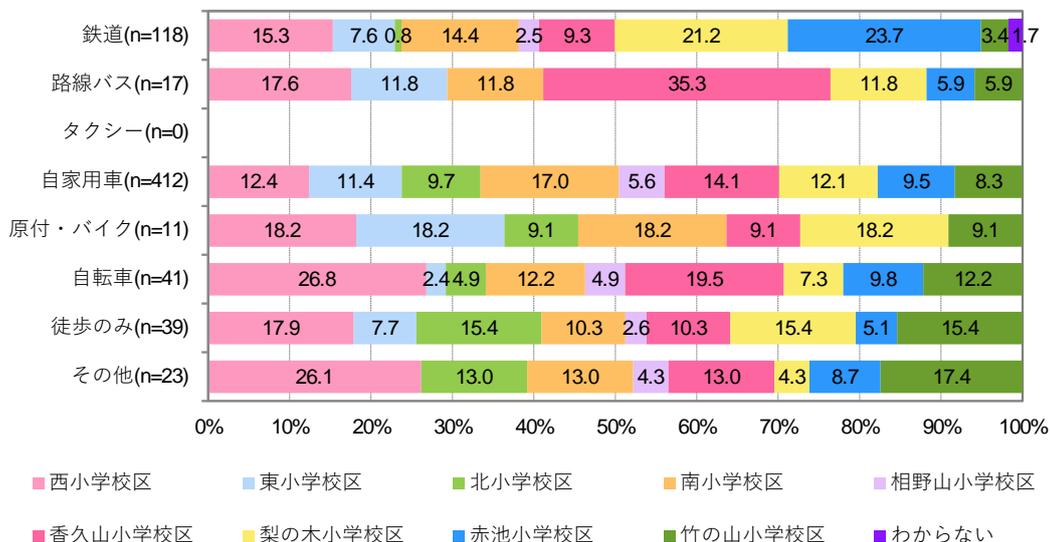
(4) 病院・診療所等

自家用車の利用が最も多く、西小学校区(14.2%)、南小学校区(15.6%)、梨の木小学校区(14.4%)、香久山小学校区(12.6%)など、全体的に高い傾向があります。徒歩での利用は赤池小学校区(30.5%)が最も高く、自転車の利用は香久山小学校区(21.1%)が最も高くなっています。鉄道は赤池小学校区(42.9%)が突出し、路線バスは香久山小学校区(30.8%)が目立ちます。タクシーの利用は香久山小学校区(40.0%)が最多となっています。



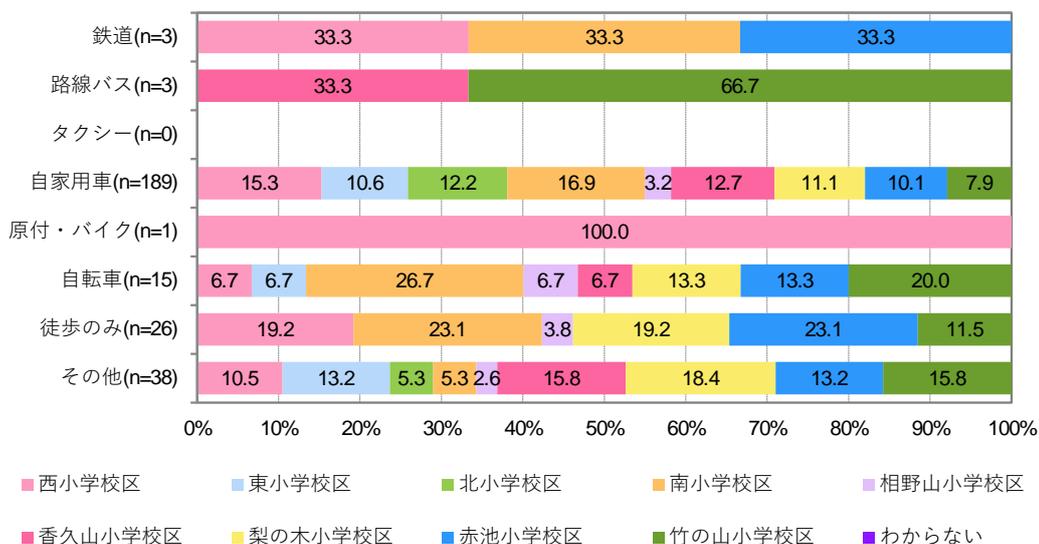
(5) 通勤・通学先

鉄道を利用する割合が高いのは赤池小学校区（23.7%）、梨の木小学校区（21.2%）、西小学校区（15.3%）、南小学校区（14.4%）です。路線バスは香久山小学校区（35.3%）が最も高くなっています。自家用車の利用は南小学校区（17.0%）や香久山小学校区（14.1%）で高く、自転車は西小学校区（26.8%）や香久山小学校区（19.5%）が高くなっています。



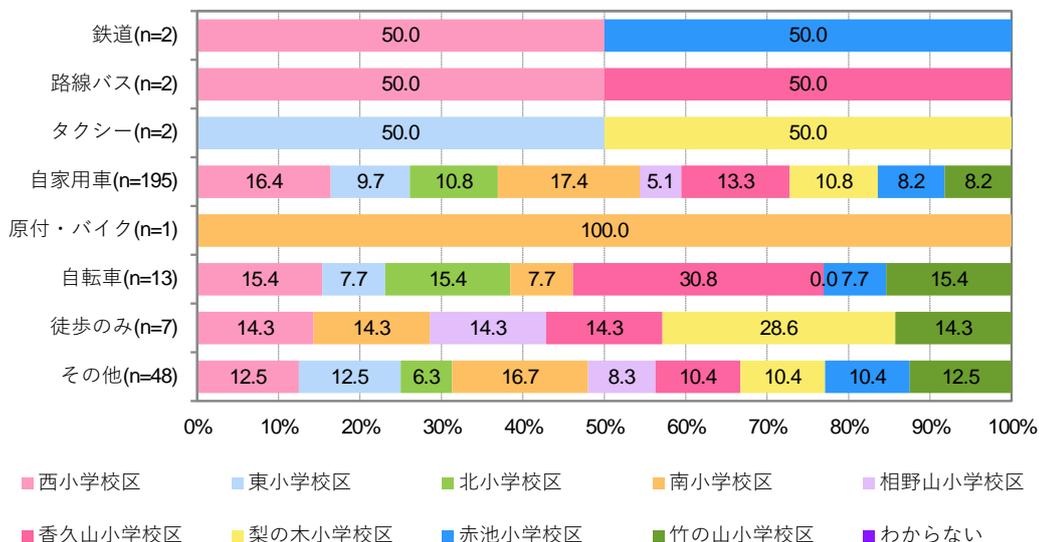
(6) 子育て施設(幼稚園、保育所等)

自家用車の利用が全体的に高く、西小学校区（15.3%）、南小学校区（16.9%）、香久山小学校区（12.7%）、梨の木小学校区（11.1%）などで特に多くなっています。徒歩や自転車は少数で、自家用車に依存した移動傾向が強くなっています。



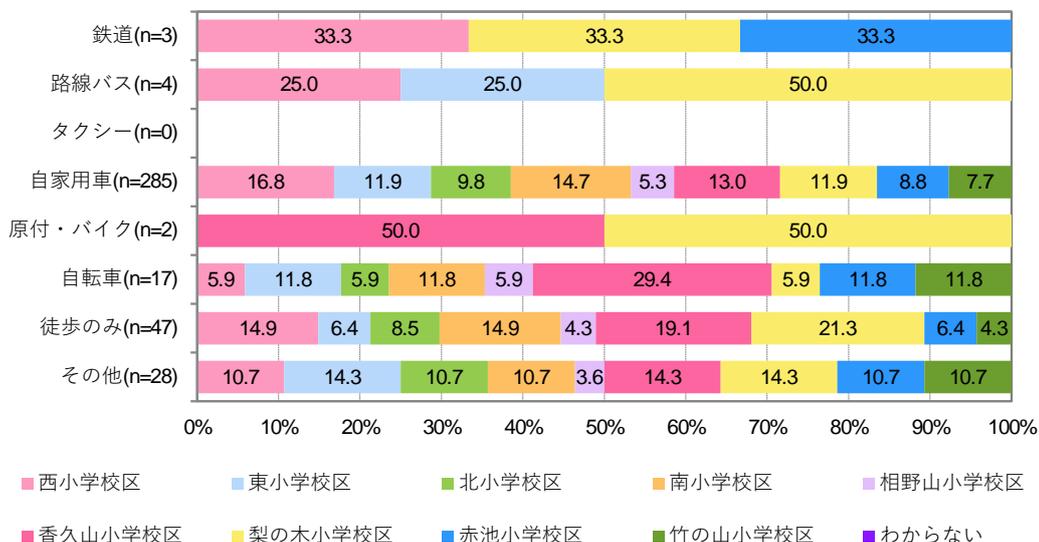
(7) 福祉・介護施設

自家用車の利用が最も多く、南小学校区（17.4%）、西小学校区（16.4%）、香久山小学校区（13.3%）などで特に高くなっています。公共交通機関の利用は限られており、鉄道は西小学校区と赤池小学校区で、路線バスは西小学校区と香久山小学校区となっています。



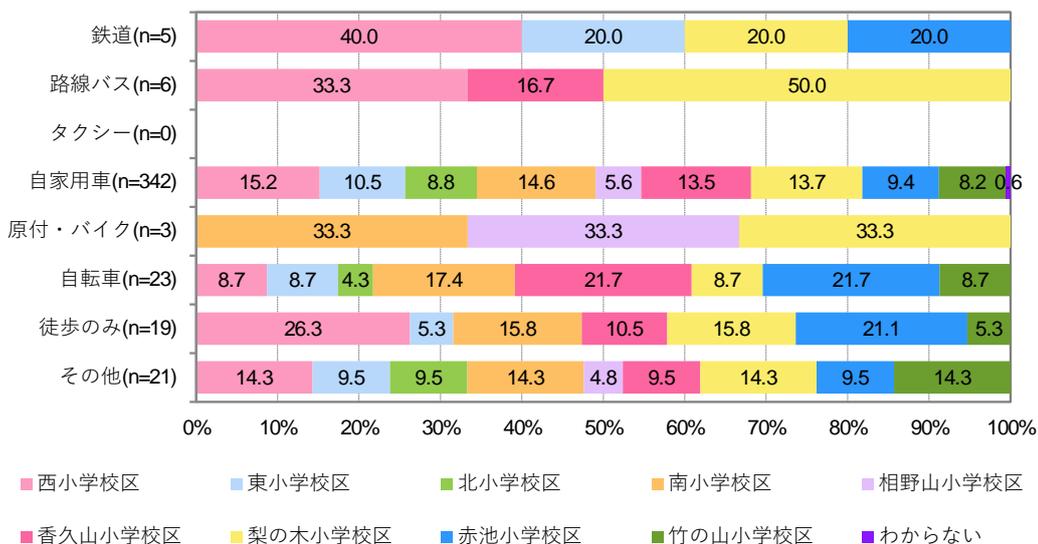
(8) コミュニティ施設(公民館等)

自家用車の利用が大多数を占めており、特に西小学校区（16.8%）、南小学校区（14.7%）、香久山小学校区（13.0%）などで高くなっています。路線バスの利用は梨の木小学校区（50.0%）、西小学校区と東小学校区（いずれも 25.0%）で見られるものの、全体の利用者数は非常に少なくなっています。



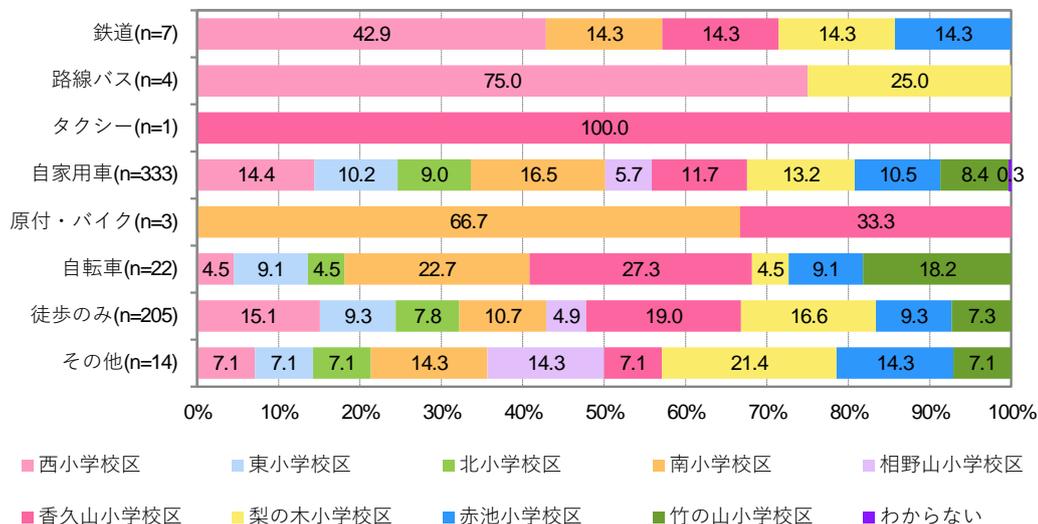
(9) スポーツ・レクリエーション施設(体育館等)

自家用車が中心であり、西小学校区（15.2%）、南小学校区（14.6%）、香久山小学校区（13.5%）などで特に多くなっています。一方で鉄道の利用は西小学校区（40.0%）や東小学校区（20.0%）などで見られ、原付・バイクは南、相野山、梨の木小学校区で33.3%と限定的となっています。



(10) 公園、緑地等

自家用車の利用が最も多く、竹の山小学校区（16.5%）、西小学校区（14.4%）、梨の木小学校区（13.2%）で高い割合となっています。徒歩のみの利用も全体的に多く、香久山小学校区（19.0%）、梨の木小学校区（16.6%）、西小学校区（15.1%）が高くなっています。また、鉄道の利用が特に高いのは西小学校区（42.9%）で、自転車の利用は香久山小学校区（27.3%）、南小学校区（22.7%）が高くなっています。



(11) 郵便局、銀行等の金融機関

鉄道を利用している割合が最も高いのは赤池小学校区（22.7%）で、西小学校区（13.6%）や香久山（18.2%）、南小（18.2%）なども比較的高い傾向があります。路線バスの利用が高いのは東小学校区（36.4%）で、相野山小学校区（18.2%）や西小学校区（18.2%）も続いています。自家用車の利用が高いのは南小学校区（15.8%）で、次いで西小学校区（15.5%）、梨の木小学校区（14.0%）が高くなっています。

